

(様式第 10)

琉大上総第 196 号
令和 3 年 10 月 1 日

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法人 琉球大学
学長 西田 睦

琉球大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、令和 2 年度の業務に関して報告します。
記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原 1 番地
氏 名	国立大学法人琉球大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

琉球大学病院

3 所在の場所

〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町字上原207	電話 (098) 895 - 3331
------------------------------	-----------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有	無
内科と組み合わせた診療科名等		
1呼吸器内科		
2消化器内科		
3循環器内科		
4腎臓内科		
5神経内科		
6血液内科		
7内分泌内科		
8代謝内科		
9感染症内科		
10アレルギー疾患内科またはアレルギー科		
11リウマチ科		
診療実績		

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科		有	無
外科と組み合わせた診療科名			
1呼吸器外科	2消化器外科	3乳腺外科	4心臓外科
5血管外科	6心臓血管外科	7内分泌外科	8小児外科
診療実績			

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

1精神科	2小児科	3整形外科	4脳神経外科	5皮膚科	6泌尿器科	7産婦人科
8産科	9婦人科	10眼科	11耳鼻咽喉科	12放射線科	13放射線診断科	
14放射線治療科	15麻酔科	16救急科				

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科		有	無
歯科と組み合わせた診療科名			
1小児歯科	2矯正歯科	3口腔外科	
歯科の診療体制			

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 神経科	2 呼吸器科	3 消化器科	4 循環器科	5 病理診断科	6 形成外科	7 リハビリテーション科
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
40床	6床	4床	0床	550床	600床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	366人	19人	374.9人	看 護 補 助 者	62人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	16人	2人	16.6人	理 学 療 法 士	19人	臨床検査技師	43人
薬 剤 師	40人	2人	41.5人	作 業 療 法 士	8人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	6人	そ の 他	0人
助 産 師	33人	0人	33.0人	義 肢 装 具 士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	643人	16人	655.4人	臨 床 工 学 士	26人	医療社会事業従事者	0人
准 看 護 師	0人	0人	0人	栄 養 士	1人	その他の技術員	55人
歯 科 衛 生 士	5人	0人	5.0人	歯 科 技 工 士	0人	事 務 職 員	152人
管 理 栄 養 士	8人	0人	8.0人	診 療 放 射 線 技 師	34人	そ の 他 の 職 員	164人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	34人	眼 科 専 門 医	6人
外 科 専 門 医	24人	耳 鼻 咽 喉 科 専 門 医	14人
精 神 科 専 門 医	9人	放 射 線 科 専 門 医	8人
小 児 科 専 門 医	17人	脳 神 経 外 科 専 門 医	6人
皮 膚 科 専 門 医	8人	整 形 外 科 専 門 医	20人
泌 尿 器 科 専 門 医	5人	麻 酔 科 専 門 医	18人
産 婦 人 科 専 門 医	18人	救 急 科 専 門 医	4人
		合 計	191人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (大屋 祐輔) 任命年月日 平成 31 年 4 月 1 日

医療安全管理委員会委員長
 医療安全調査委員会委員長

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	460.9人	9.1人	470人
1日当たり平均外来患者数	1,018.3人	82.4人	1,100.7人
1日当たり平均調剤数	5,625		剤
必要医師数			108.5人
必要歯科医師数			6.12人
必要薬剤師数			71人
必要(准)看護師数			274人

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数	心電計	有・無	有・無
集中治療室	163.07m ²	鉄筋コンクリート	病床数	8床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 54.25 m ² [移動式の場合] 台数 0 台		病床数	6 床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 m ² [共用室の場合] 共用する室名 医薬品情報室・薬剤部員室					
化学検査室	350.60m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 全自動蛍光免疫測定装置			
細菌検査室	126.94m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 全自動迅速同定感受性測定装置			
病理検査室	151.73m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 脱水・脱脂パラフィン浸透装置			
病理解剖室	58.44m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) SL写真撮影装置			
研究室	6101.00 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) HSオールインワン蛍光顕微鏡システム			
講義室	525.91m ²	鉄筋コンクリート	室数	2 室	室数	2 室
図書室	807.00m ²	鉄筋コンクリート	室数	5 室	室数	5 室

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

	紹介率	73.2%	逆紹介率	54.4%
算出根拠	A: 紹介患者の数	11,270人		
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	8,836人		
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	633人		
	D: 初診の患者の数	16,251人		

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
綾部 貴典	宮崎大学医学 部附属病院	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・無	1
望月 保博	かりゆし法律 事務所		法律に関する識見を有する者	有・無	1
照喜名 通	NPO 法人アンビ シャス		医療を受ける立場にある者	有・無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有・無
委員の選定理由の公表の有無	有・無
公表の方法	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	胸腔鏡下食道切除術	取扱患者数	14人
当該医療技術の概要 食道癌に対し、従来は開胸手術を要していたが、胸腔鏡を用いることで痛みが減り、入院期間が短縮できる。			
医療技術名	生体部分肝移植術	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要 進行末期肝硬変に対する、唯一の根本的治療である。経験、環境など大学病院以外では難しいと思われる。			
医療技術名	経カテーテル大動脈弁置換術	取扱患者数	79人
当該医療技術の概要 経カテーテル大動脈弁置換術(TAVI)は、重症大動脈弁狭窄症に対する低侵襲治療である。TAVIは、経カテーテル的大動脈弁置換術関連学会協議会に認定された医療機関のみが施行可能な治療法である。			
医療技術名	成人脊柱変形及び症候性側弯症手術	取扱患者数	16人
当該医療技術の概要 高度に変形した脊柱を矯正、固定する手術で、高い手術技術を要する。県内では本院のみで施行している。			
医療技術名	腫瘍、脊椎骨全摘手術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 脊椎腫瘍に対する根治手術で高い手術技術が必要である。県内で唯一当院で施行している。			
医療技術名	癒着胎盤例に対する大動脈balloon occlusion	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 上記疾患の患者の帝王切開時に大動脈balloon挿入による止血術を併用する。			
医療技術名	妊孕性温存目的卵巣凍結	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 小児(0~14才)のがん患者さんが、がん治療により妊娠する能力を失ってしまう可能性がある場合、がん治療前に卵巣を凍結し、がん克服後に融解し、移植する技術である。			
医療技術名	妊孕性温存目的卵子凍結	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 上記同様の目的で若年成人のがん治療開始前に卵子を凍結し、がん克服後に顕微授精を行って受精させ、移植する技術である。			
医療技術名	全身化学療法不応肝転移に対するTACE	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 肝転移による肝障害は全身状態を悪化させ、予後を縮めるため、TACEを行うことで肝局所の病変をコントロールすることで全身状態の維持、予後延長を図る緩和治療。			
医療技術名	放射線治療不応骨転移に対する動注化学塞栓術	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 放射線治療後の再発あるいは無効である骨転移症例に対して行っている。			
医療技術名	全身照射	取扱患者数	24人
当該医療技術の概要 骨髄移植の前処置としての全身照射を県内で唯一当院で施行している。			

医療技術名	前立腺癌に対する小線源刺入療法	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 前立腺癌の根治を目的とした治療法の1つである小線源刺入療法を県内で唯一当院で施行している。			
医療技術名	婦人科悪性腫瘍に対する腔内照射/組織内照射	取扱患者数	63人
当該医療技術の概要 子宮頸癌の標準治療に含まれ、また子宮体癌、外陰癌、腔癌等の婦人科悪性腫瘍に対しても適応のある腔内照射を県内で唯一当院で施行している。			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	筋萎縮性側索硬化症	9	59	特発性間質性肺炎	8
2	進行性核上性麻痺	9	60	肺動脈性肺高血圧症	16
3	パーキンソン病	41	61	慢性血栓性肺高血圧症	19
4	大脳皮質基底核変性症	4	62	リンパ脈管筋腫症	2
5	ハンチントン病	2	63	網膜色素変性症	12
6	重症筋無力症	27	64	バッド・キアリ症候群	3
7	多発性硬化症/視神経脊髄炎	37	65	特発性門脈圧亢進症	2
8	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	3	66	原発性胆汁性肝硬変	28
9	多系統萎縮症	4	67	自己免疫性肝炎	8
10	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	5	68	クローン病	108
11	ライソゾーム病	15	69	潰瘍性大腸炎	86
12	副腎白質ジストロフィー	1	70	好酸球性消化管疾患	1
13	ミトコンドリア病	8	71	若年性特発性関節炎	4
14	プリオン病	1	72	ブラウ症候群	1
15	亜急性硬化性全脳炎	6	73	筋ジストロフィー	1
16	進行性多巣性白質脳症	1	74	遺伝性周期性四肢麻痺	2
17	HTLV-1関連脊髄症	10	75	アトピー性脊髄炎	1
18	全身性アミロイドーシス	3	76	脊髄髄膜瘤	2
19	神経線維腫症	6	77	アイザックス症候群	1
20	天疱瘡	15	78	皮膚下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	3
21	表皮水疱症	1	79	前頭側頭葉変性症	1
22	膿疱性乾癬(汎発型)	10	80	ビッカースタッフ脳幹脳炎	1
23	中毒性表皮壊死症	1	81	アレキサンダー病	1
24	高安動脈炎	12	82	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	11
25	結節性多発動脈炎	2	83	特発性後天性全身性無汗症	5
26	顕微鏡的多発血管炎	10	84	眼皮膚白皮症	1
27	多発血管炎性肉芽腫症	11	85	マルファン症候群	4
28	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	4	86	ウィルソン病	3
29	悪性関節リウマチ	7	87	低ホスファターゼ症	2
30	パージャー病	6	88	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	1
31	原発性抗リン脂質抗体症候群	2	89	強直性脊椎炎	2
32	全身性エリテマトーデス	100	90	骨形成不全症	2
33	皮膚筋炎/多発性筋炎	47	91	クリッペル・レノネー・ウェーバー症候群	2
34	全身性強皮症	80	92	後天性赤芽球癬	5
35	混合性結合組織病	6	93	クローンカイト・カナダ症候群	1
36	シェーグレン症候群	29	94	胆道閉鎖症	2
37	成人ステル病	2	95	アラジール症候群	1
38	ベーチェット病	21	96	IgG4関連疾患	3
39	特発性拡張型心筋症	20	97	好酸球性副鼻腔炎	18
40	肥大型心筋症	5	98	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症	1
41	再生不良性貧血	10	99	特発性多中心性キャッスルマン病	3
42	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1	100	レノックス・ガストー症候群	1
43	特発性血小板減少性紫斑病	22	101	スタージ・ウェーバー症候群	2
44	原発性免疫不全症候群	4	102	結節性硬化症	7
45	IgA腎症	49	103	色素性乾皮症	2
46	多発性嚢胞腎	24	104	アルポート症候群	1
47	黄色靱帯骨化症	4	105	抗糸球体基底膜腎炎	1
48	後縦靱帯骨化症	26	106	一次性ネフローゼ症候群	17
49	広範脊柱管狭窄症	6	107	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	2
50	特発性大腿骨頭壊死症	52	108	紫斑病性腎炎	2
51	下垂体性ADH分泌異常症	15	109	間質性膀胱炎(ハンナ型)	2
52	下垂体性PRL分泌亢進症	7	110	カーニー複合	1
53	クッシング病	3	111	副甲状腺機能低下症	1
54	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	9	112	偽性副甲状腺機能低下症	1
55	下垂体前葉機能低下症	54	113	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	4
56	先天性副腎皮質酵素欠損症	2	114	フェニルケトン尿症	1
57	アジソン病	1	115	プロピオン酸血症	1
58	サルコイドーシス	31	116	肝型糖原病	1

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ 特定機能病院入院基本料(一般7:1、精神13:1、結核7:1)	・ ハイリスク妊娠管理加算
・ ADL維持向上等体制加算(特定機能病院入院基本料の加算)	・ ハイリスク分娩管理加算
・ 救急医療管理加算	・ 呼吸ケアチーム加算
・ 超急性期脳卒中加算	・ 後発医薬品使用体制加算1
・ 診療録管理体制加算1	・ 病棟薬剤業務実施加算1
・ 医師事務作業補助体制加算1(25対1)	・ 病棟薬剤業務実施加算2
・ 急性期看護補助体制加算(25対1看護補助者5割以上)	・ データ提出加算2のイ
・ 夜間100対1急性期看護補助体制加算(急性期看護補助体制加算)	・ 入退院支援加算1 入退院支援加算1(入院時支援加算)
・ 夜間看護体制加算(急性期看護補助体制加算)	・ 入退院支援加算(総合機能評価加算)
・ 看護職員12対1夜間配置加算1	・ 認知症ケア加算2
・ 看護補助加算2(精神病棟)	・ せん妄ハイリスク患者ケア加算
・ 療養環境加算	・ 精神疾患診療体制加算
・ 重症者等療養環境特別加算	・ 精神科急性期医師配置加算2のイ
・ 無菌治療室管理加算1	・ 排尿自立支援加算
・ 無菌治療室管理加算2	・ 地域医療体制確保加算
・ 緩和ケア診療加算	・ 特定集中治療室管理料1(小児加算)
・ 精神科応急入院施設管理加算	・ 特定集中治療室管理料1(早期離床・リハビリテーション加算)
・ 精神科身体合併症管理加算	・ 特定集中治療室管理料1(早期栄養介入管理加算)
・ 精神科リエゾンチーム加算	・ ハイケアユニット入院医療管理料2
・ 摂食障害入院医療管理加算	・ 新生児特定集中治療室管理料1
・ 栄養サポートチーム加算	・ 新生児治療回復室入院医療管理料
・ 医療安全対策加算1	・ 小児入院医療管理料2(プレイルーム加算)
・ 感染防止対策加算1(感染防止対策地域連携加算)	・ 地域歯科診療支援病院歯科初診料
・ 感染防止対策加算1(抗菌薬適正使用支援加算)	・ 歯科外来診療環境体制加算2
・ 患者サポート体制充実加算	・ 地域歯科診療支援病院入院加算
・ 褥瘡ハイリスク患者ケア加算	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ ウイルス疾患指導料	・ 腫瘍脊椎骨全摘術
・ 外来栄養食事指導料の注2に規定する施設基準	・ 原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算(頭蓋内腫瘍摘出術の加算)
・ 心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算	・ 脳刺激装置植込術、頭蓋内電極植込術、脳刺激装置交換術
・ 糖尿病合併症管理料	・ 脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・ がん性疼痛緩和指導管理料	・ 仙骨神経刺激装置植込術及び交換術(過活動膀胱)
・ がん患者指導管理料 イ	・ 緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・ がん患者指導管理料 ロ	・ 緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
・ がん患者指導管理料 ハ	・ 網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
・ がん患者指導管理料 ニ	・ 網膜再建術
・ 外来緩和ケア管理料	・ 人工中耳用材料
・ 移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・ 人工中耳植込術
・ 移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・ 人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・ 糖尿病透析予防指導管理料	・ 内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
・ 小児運動器疾患指導管理料	・ 鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
・ 乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・ 鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・ 婦人科特定疾患治療管理料	・ 喉頭形成手術(甲状軟骨固定用器具を用いたもの)
・ 腎代替療法指導管理料	・ 乳房切除術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群の患者に対して行うものに限る。)
・ 院内トリアージ実施料	・ 乳がんセンチネルリンパ節加算1(乳腺悪性腫瘍手術の加算)及びセンチネルリンパ節生検(片側・併用)
・ 救急搬送看護体制加算1	・ 乳がんセンチネルリンパ節加算2(乳腺悪性腫瘍手術の加算)及びセンチネルリンパ節生検(片側・単独)
・ 外来放射線照射診療料	・ ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・ ニコチン依存症管理料	・ 経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・ 療養・就労両立支援指導料 相談支援加算	・ 胸腔鏡下弁形成術
・ がん治療連携計画策定料	・ 経カテーテル大動脈弁置換術
・ 肝炎インターフェロン治療計画料	・ 胸腔鏡下弁置換術
・ 外来排尿自立指導料	・ 経皮的中隔心筋焼灼術
・ ハイリスク妊産婦連携指導料1	・ ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・ ハイリスク妊産婦連携指導料2	・ ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
・ 薬剤管理指導料	・ 両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)

・ 医療機器安全管理料 1	・ 植込型除細動器移植術 (経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術 (その他のもの) 及び経静脈電極除去術
・ 医療機器安全管理料 2	・ 両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術 (経静脈電極の場合) 及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術 (経静脈電極の場合)
・ 精神科退院時共同指導料 2	・ 大動脈バルーンパンピング法 (IABP法)
・ 在宅植込型補助人工心臓 (非拍動流型) 指導管理料	・ 経皮的循環補助法 (ポンプカテーテルを用いたもの)
・ 在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	・ 補助人工心臓
・ 持続血糖測定器加算	・ 植込型補助人工心臓 (非拍動流型)
・ 遺伝学的検査	・ 腹腔鏡下リンパ節群郭清術 (傍大動脈)
・ 骨髄微小残存病変量測定	・ バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
・ BRCA1/2遺伝子検査	・ 胆管悪性腫瘍手術 (膵頭十二指腸切除及び肝切除 (葉以上) を伴うもの)
・ がんゲノムプロファイリング検査	・ 腹腔鏡下肝切除術 (1 部分切除 2 外側区域切除)
・ 先天性代謝異常症検査	・ 腹腔鏡下肝切除術 (3 亜区域切除、 4 1 区域切除 (外側区域切除を除く)、 5 2 区域切除、 6 3 区域切除以上のもの)
・ 抗HLA (スクリーニング検査) 及び抗HLA (抗体特異性同定検査)	・ 生体部分肝移植術
・ HPV核酸検出及びHPV核酸検出 (簡易ジェノタイプ判定)	・ 腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
・ 検体検査管理加算 (I)	・ 腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・ 検体検査管理加算 (IV)	・ 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・ 国際標準検査管理加算	・ 腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・ 遺伝カウンセリング加算	・ 腹腔鏡下腎盂形成手術 (内視鏡手術用支援機器を使用した場合)
・ 遺伝性腫瘍カウンセリング加算	・ 同種死体腎移植術
・ 心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・ 生体腎移植術
・ 時間内歩行試験	・ 膀胱水圧拡張術
・ シャトルウォーキングテスト	・ 腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・ ヘッドアップティルト試験	・ 人工尿道括約筋植込・置換術
・ 皮下連続式グルコース測定	・ 腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・ 長期継続頭蓋内脳波検査	・ 腹腔鏡下仙骨腔固定術
・ 光トポグラフィー (抗うつ症状の鑑別診断の補助に使用するもの)	・ 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術 (子宮体がんに限る。)
・ 神経学的検査	・ 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術 (子宮頸がんに限る。)
・ 補聴器適合検査	・ 子宮付属器腫瘍摘出術 (遺伝性乳癌卵巣癌症候群の患者に対して行うものに限る。)
・ 黄斑局所網膜電図	・ 胃瘻造設術

・ 全視野精密網膜電図	・ 輸血管理料Ⅱ
・ 小児食物アレルギー負荷検査	・ 貯血式自己血輸血管理体制加算
・ 内服・点滴誘発試験	・ 自己クリオプレシピテート作製術（用手法）
・ 画像診断管理加算 3	・ 同種クリオプレシピテート作製術
・ 遠隔画像診断	・ 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・ ポジトロン断層撮影	・ 胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・ ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	・ 麻酔管理料（Ⅰ）
・ CT撮影及びMRI撮影	・ 麻酔管理料（Ⅱ）
・ 冠動脈CT撮影加算	・ 放射線治療専任加算
・ 血流予備量比コンピューター断層撮影	・ 外来放射線治療加算
・ 心臓MRI撮影加算	・ 高エネルギー放射線治療
・ 乳房MRI撮影加算	・ 1回線量増加加算（全乳房照射）
・ 頭部MRI撮影加算	・ 強度変調放射線治療（IMRT）
・ 全身MRI撮影加算	・ 1回線量増加加算（前立腺照射）（IMRTの加算）
・ 抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・ 画像誘導放射線治療加算（IGRT）
・ 外来化学療法加算 1	・ 体外照射呼吸性移動対策加算
・ 連携充実加算	・ 定位放射線治療
・ 無菌製剤処理科	・ 定位放射線治療呼吸性移動対策加算（動体追尾法・その他）
・ 心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）（初期加算）	・ 画像誘導密封小線源治療加算
・ 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）（初期加算）	・ デジタル病理画像による術中迅速病理診断組織標本作製 （送受信区分：受信側）
・ 運動器リハビリテーション料（Ⅰ）（初期加算）	・ デジタル病理画像による迅速細胞診 （送受信区分：受信側）
・ 呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）（初期加算）	・ 病理診断管理加算2
・ 摂食嚥下支援加算（摂食機能療法の加算）	・ 悪性腫瘍病理組織標本加算
・ がん患者リハビリテーション料	・ 医療機器安全管理料（歯科）
・ 集団コミュニケーション療法料	・ 歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算 歯科治療時医療管理料
・ 児童思春期精神科専門管理加算（通院・在宅精神療法）	・ 精密触覚機能検査
・ 抗精神病特定薬剤治療指導管理料（治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。）	・ 摂食嚥下支援加算
・ 医療保護入院等診療料	・ 歯科口腔リハビリテーション料 2

<ul style="list-style-type: none"> ・ 硬膜外自家血注入 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手術用顕微鏡加算（加圧根幹充填処置の加算）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 人工腎臓（慢性維持透析を行った場合1） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯根端切除手術の注3（歯科用3次元エックス線断面撮影装置及び手術用顕微鏡を用いた場合）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 導入期加算2 ・ 腎代替療法実績加算 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯周組織再生誘導手術
<ul style="list-style-type: none"> ・ 透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科診療に係るものに限る。）、 ・ 下顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科診療に係るものに限る。）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 下肢末梢動脈疾患指導管理加算 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広範囲顎骨支持型装置埋入手術
<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩行運動処置（ロボットスーツによるもの） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 口腔病理診断管理加算2
<ul style="list-style-type: none"> ・ センチネルリンパ節加算（皮膚悪性腫瘍切除術の加算） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ クラウン・ブリッジ維持管理料
<ul style="list-style-type: none"> ・ 組織拡張器による再建手術（乳房（再建手術）の場合に限る。） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ CAD/CAM冠
<ul style="list-style-type: none"> ・ 骨移植術（軟骨移植術を含む。）（自家培養軟骨移植術に限る。） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科矯正診断料
<ul style="list-style-type: none"> ・ 椎間板内酵素注入療法 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 顎口腔機能診断料（顎変形症（顎離断等の手術を必要とするものに限る。）の手術前後における歯科矯正に係るもの）

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
腎近位尿管上皮細胞を足場とするレプトスピラの感染機構の解明	Toma Claudia	細菌学講座	1,700,000	補委 日本学術振興会 科研費
硫化水素ガス吸入療法による脊髄虚血後運動神経保護効果のプロテオーム解析	垣花 学	麻酔科学講座	1,900,000	補委 日本学術振興会 科研費
造血細胞移植に関わる新たなアロ免疫認識機構の解明	森島 聡子	内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座	3,000,000	補委 日本学術振興会 科研費
リーシュマニア症およびシャーガス病の感染・病態リスク評価系の構築	山本 雄一	皮膚科	200,000	補委 日本学術振興会 科研費(研究分担者)
脳機能画像を用いた顔面神経麻痺の中枢制御機構の解明と新規リハビリテーション開発	喜瀬 乗基	耳鼻咽喉科	800,000	補委 日本学術振興会 科研費
CBP/p300依存性EGFRシグナリングを利用した皮膚恒常性維持制御法の開発	市瀬 多恵子	形成外科	800,000	補委 日本学術振興会 科研費
赤血球型マalaria感染における記憶B細胞維持の場の可視化	岸本 英博	寄生虫・免疫病因病態学講座	1,100,000	補委 日本学術振興会 科研費
新規高度Env発現組換えワクシニアウイルスワクチンによるHTLV-1感染制御	高橋 良明	免疫学講座	900,000	補委 日本学術振興会 科研費
腫瘍壊死因子から見た難治性うつ病性障害の病態解明とその治療戦略について	三原 一雄	精神病態医学講座	500,000	補委 日本学術振興会 科研費
脊髄におけるGABAの放出及びその抑制性応答と胎児期の運動機能発達との関連	清水 千草	分子解剖学講座	1,000,000	補委 日本学術振興会 科研費
有棘細胞癌の新規癌幹細胞マーカーの探索	武居 公子	医化学講座	1,300,000	補委 日本学術振興会 科研費
ヒト皮膚の部位特異性を決定する遺伝子クラスター解析による限局性皮膚症の病態解明	山本 雄一	皮膚科	1,700,000	補委 日本学術振興会 科研費
抗癌剤耐性高分化型口腔癌に対するEphA4を標的とした分子生学的メカニズムの解明	仲宗根 敏幸	歯科口腔外科	900,000	補委 日本学術振興会 科研費
加齢による排尿障害を克服、neuromodulationによる血流増加と尿道機能	大城 琢磨	腎泌尿器外科学講座	400,000	補委 日本学術振興会 科研費
加齢による過活動膀胱に対する新しい低出力体外衝撃波システムの確立	宮里 実	腎泌尿器外科学講座	700,000	補委 日本学術振興会 科研費
脳機能ネットワークの観点から行うPusher現象の病態解析と新規治療法の開発	西村 正彦	脳神経外科学講座	800,000	補委 日本学術振興会 科研費

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補	委
肥満後の急激な減量に伴う食嗜好性変容の脳内分子メカニズム	岡本 士毅	内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座	800,000	補	日本学術振興会 科研費
がん患者の死前喘鳴に対する薬物療法の効果を推定するための全国レジストリ研究	中島 信久	国際・地域医療部	1,100,000	補	日本学術振興会 科研費
脳機能画像を応用した経頭蓋直流刺激による音声障害・嚥下障害の治療	喜友名 朝則	耳鼻咽喉科	900,000	補	日本学術振興会 科研費
頭頸部領域のヒト乳頭腫ウイルス受容体の解析	金城 秀俊	耳鼻咽喉科	500,000	補	日本学術振興会 科研費
HPVによる喉頭乳頭腫形成機構：増殖制御と免疫回避システムからのアプローチ	池上 太郎	耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座	900,000	補	日本学術振興会 科研費
糖尿病性膀胱機能障害への磁気刺激神経調整的新システムの確立・基礎・臨床的検討	木村 隆	腎泌尿器外科	400,000	補	日本学術振興会 科研費
バイオ医薬品の有効性・安全性に関わる因子の検討	中村 克徳	薬剤部	900,000	補	日本学術振興会 科研費
HTLV-1ウイルス遺伝子産物の組織内同定法の開発とその病理学的意義の解明	加留部 謙之輔	細胞病理学講座	1,300,000	補	日本学術振興会 科研費
宮古島のHHV8にみられる遺伝子変異の意義	大野 真治	ウイルス学講座	1,100,000	補	日本学術振興会 科研費
4D flow MRIによる肺高血圧症の早期発見と治療効果判定法の開発	村山 貞之	放射線診断治療学講座	600,000	補	日本学術振興会 科研費
ATLにおける制御性T細胞の選択的な増殖機構：OX40L/OX40に着目して	水口 真理子	免疫学講座	1,000,000	補	日本学術振興会 科研費
脂肪幹細胞由来神経細胞による胸腹部大動脈術後虚血性対麻痺に対する新規治療法の開発	清水 雄介	形成外科学講座	900,000	補	日本学術振興会 科研費
新規ウイルス投与方法によるALS局所モデルと治療法の探索：TDP43断片化の病理	神里 興太	麻酔科学講座	1,600,000	補	日本学術振興会 科研費
鼻副鼻腔内反性乳頭腫の診断、再発、悪性転化のバイオマーカー探索と機序の解明	山下 懐	耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座	600,000	補	日本学術振興会 科研費
診療の質指標の評価結果のフィードバックで、大腸がん診療の質の格差を解消できるか？	増田 昌人	がんセンター	800,000	補	日本学術振興会 科研費

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
手術のためのバーチャルリアリティ変形性物理シミュレーション・システムの開発	宮城 智央	脳神経外科	300,000	補委	日本学術振興会 科研費
沖縄県における成人T細胞白血病/リンパ腫のゲノム解析	崎浜 秀悟	細胞病理学講座	1,400,000	補委	日本学術振興会 科研費
成人T細胞性白血病リンパ腫におけるSTAT3活性化とインターフェロン療法の関連性	森近 一穂	内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座	1,100,000	補委	日本学術振興会 科研費
頭頸部癌における癌幹細胞マーカーの同定	近藤 俊輔	耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座	1,000,000	補委	日本学術振興会 科研費
先天性頸部疾患におけるヒト乳頭腫ウイルス感染	上里 迅	耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座	800,000	補委	日本学術振興会 科研費
組織トランスグルタミナーゼに着目した多発性嚢胞腎病態に基づく疾患特異的治療の開発	中西 浩一	育成医学講座	1,500,000	補委	日本学術振興会 科研費
リボソームタンパク質のリン酸化を介した先天性貧血における造血制御機構の解析	鳥原 英嗣	生化学講座	1,600,000	補委	日本学術振興会 科研費
抗がん剤心血管毒性の克服とがんサバイバーの心血管リスク低減を目指した臨床研究	植田 真一郎	臨床薬理学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会 科研費
HLAの異常に基づく成人T細胞白血病リンパ腫の個別化免疫療法を目指した基礎的研究	森島 聡子	内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会 科研費
玄米機能成分による脳内アセチルコリンシグナル制御と依存症・認知症改善の分子機構	益崎 裕章	内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座	1,100,000	補委	日本学術振興会 科研費
前立腺癌の悪性度に関わる幹細胞マーカーSSEA-4の役割	須田 哲司	腎泌尿器外科学講座	1,500,000	補委	日本学術振興会 科研費
頭頸部癌におけるctDNA検出法の確立および臨床応用	平川 仁	耳鼻咽喉科	1,500,000	補委	日本学術振興会 科研費
女性骨盤底機能障害のレジストリ作成に基づいた予防・先端治療の確立	芦刈 明日香	腎泌尿器科	1,600,000	補委	日本学術振興会 科研費
子宮頸癌の網羅的ゲノム解析による放射線治療効果の予測因子の探索	前本 均	放射線科	2,500,000	補委	日本学術振興会 科研費
4D Flow MRIを用いたバッド・キアリ症候群の血流量解析	土屋 奈々絵	放射線診断治療学講座	1,100,000	補委	日本学術振興会 科研費
ヒト海馬神経新生能の非侵襲的測定	小林 繁貴	脳神経外科学講座	300,000	補委	日本学術振興会 科研費

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補助元	委託元
小脳腫瘍摘出前後でのfMRIと脳波の同時計測によるバイオマーカー同定	上 薫	脳神経外科学講座	300,000	補 委	日本学術振興会 科研費
子宮動脈に対する4D-flow MRIの有効性と臨床的有用性の検討	伊良波 裕子	放射線科	1,500,000	補 委	日本学術振興会 科研費
アテロームの2病型をモデルとした、表皮-毛包上皮間の相互分化機序の理解	山口 さやか	皮膚科	1,400,000	補 委	日本学術振興会 科研費
頭部血管肉腫の病態に迫る複層的な腫瘍ゲノム変異パターンの解析から治療戦略の構築へ	内海 大介	皮膚科学講座	1,500,000	補 委	日本学術振興会 科研費
新規AIによる病態関連遺伝子群の複合的抽出による皮膚型ATLの鑑別アルゴリズム	宮城 拓也	皮膚科学講座	1,600,000	補 委	日本学術振興会 科研費
GVHD関連骨髄不全の脂肪組織由来間葉系幹細胞エクソソームによる治療開	西 由希子	検査・輸血部	1,900,000	補 委	日本学術振興会 科研費
Novel viral noncoding RNAs in head and neck cancers	小杉 隆誠	耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座	1,500,000	補 委	日本学術振興会 科研費
HPV関連頭頸部癌におけるmTOR経路Raptorを標的とした新規治	上原 貴行	耳鼻咽喉科	1,000,000	補 委	日本学術振興会 科研費
強膜断層像に着目した黄斑疾患の病態解明	今永 直也	眼科	1,400,000	補 委	日本学術振興会 科研費
磁性アタッチメントを用いた簡便かつ低侵襲なエビテーゼ装着法の開発	笠井 昭吾	形成外科	900,000	補 委	日本学術振興会 科研費
口腔がん再発予防ペプチドカクテルワクチンの樹立に関する基礎的研究	宮本 昇	歯科口腔外科	1,200,000	補 委	日本学術振興会 科研費
ゲノム解析を応用した膵癌遠隔転移制御の解明とその新規治療戦略	川俣 太	第一外科	1,100,000	補 委	日本学術振興会 科研費
遺伝子工学的手法による乳歯歯髄細胞からの体性幹細胞単離とその特性解析	野口 洋文	再生医学講座	50,000	補 委	日本学術振興会 科研費(研究分担者)
小児腎領域の希少・難治性疾患群の診療・研究体制の確立	中西 浩一	育成医学講座	500,000	補 委	厚生労働省 科研費(研究分担者)
成人の侵襲性細菌感染症サーベイランスの構築に関する研究	藤田 次郎	感染症・呼吸器・消化器内科学講座	400,000	補 委	厚生労働省 科研費(研究分担者)
難治性聴覚障害に関する調査研究	鈴木 幹男	耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座	500,000	補 委	厚生労働省 科研費(研究分担者)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
特発性大腿骨壊死症の医療水準及び患者のQOL向上に関する大規模多施設研究	仲宗根 哲	整形外科学講座	200,000	③補委 厚生労働省 科研費 (研究分担者)
MSMに対する有効なHIV検査提供とハイリスク層への介入方法の開発に関する研究	健山 正男	感染症・呼吸器・消化器内科学講座	1,000,000	③補委 厚生労働省 科研費 (研究分担者)
網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査研究	古泉 英貴	眼科	一括経理	③補委 厚生労働省 科研費 (研究分担者)
MSMにおける予防啓発活動の評価手法の確立及びPDCAサイクル構築のための研究	健山 正男	感染症・呼吸器・消化器内科学講座	800,000	③補委 厚生労働省 科研費 (研究分担者)
HAMならびに類縁疾患の患者レジストリを介した診療連携モデルの構築によるガイドラインの活用促進と医療水準の均てん化に関する研究	石原 聡	循環器・腎臓・神経内科学講座	350,000	③補委 厚生労働省 科研費 (研究分担者)
血液製剤によるHIV/HCV重複感染患者の肝移植に関する研究	高槻 光寿	第一外科	200,000	③補委 厚生労働省 科研費 (研究分担者)
令和2年度沖縄県地域医療支援センター運営事業	大屋 祐輔	沖縄県地域医療支援センター	29,096,413	③補委 沖縄県
沖縄県肝疾患診療連携拠点病院事業	前城 達次	第一内科	11,534,000	③補委 沖縄県
令和2年度肝炎情報センター戦略的強化事業委託費	前城 達次	第一内科	833,000	③補委 国立国際医療研究センター
令和2年度HIV感染者等保健福祉相談事業	健山 正男	第一内科	750,000	③補委 公益財団法人エイズ予防財団
沖縄県エイズ治療拠点病院研修委託	健山 正男	第一内科	917,000	③補委 沖縄県
沖縄県感染症診療ネットワークコーディネーター配置委託	健山 正男	第一内科	6,006,000	③補委 沖縄県
沖縄県認知症疾患医療センター事業	近藤 毅	認知症疾患医療センター	9,074,000	③補委 沖縄県
沖縄県難病医療提供体制整備事業	大嶺 千代美	看護部	6,196,000	③補委 沖縄県
沖縄県新生児聴覚検査体制整備事業	鈴木 幹男	耳鼻咽喉科	6,800,000	③補委 沖縄県
看護師の特定行為に係る指定研修機関運営事業	大屋 祐輔	臨床研修教育センター	1,759,000	③補委 厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補助元	委託元
地域医療介護基金 (地域医療関連講座設置事業)	大屋 祐輔	病院長	24,475,000	補 委	沖縄県
沖縄県地域医療介護総合 確保基金事業補助金(救急 から提案する高齢者地域包 括医療(高齢者施設と救急 の連携支援事業)	久木田 一朗	救急部	6,033,000	補 委	沖縄県
沖縄県地域医療介護総合 確保基金事業補助金(指導 医育成プロジェクト事業)	武村 克哉	地域医療部	3,599,000	補 委	沖縄県
感染症予防事業費等国庫負 担(補助)金(がん診療連携拠 点病院機能強化事業)	増田 昌人	がんセンター	57,847,000	補 委	厚生労働 省
沖縄県地域医療介護総合 確保基金事業補助金(がん 診療連携拠点病院等の患 者に対する歯科保健医療 推進事業)	西原 一秀	歯科口腔外科	4,594,000	補 委	沖縄県
沖縄県地域医療介護総合 確保基金事業補助金(新人 看護職員研修事業)	大嶺 千代美	看護部	1,612,000	補 委	沖縄県
沖縄県地域医療介護総合 確保基金事業補助金(認定 看護師育成事業)	大嶺 千代美	看護部	9,126,000	補 委	沖縄県
沖縄県地域医療介護総合 確保基金事業補助金	大屋 祐輔	病院長	301,369,000	補 委	沖縄県
ヘリコプター等添乗医師等派 遣協力病院支援事業補助 金	大屋 祐輔	病院長	1,040,000	補 委	沖縄県
沖縄県災害医療設備整備 事業補助金(災害拠点病院 設備整備事業)	久木田 一朗	救急部	2,370,000	補 委	沖縄県
沖縄県災害医療設備整備 事業補助金(NBC・テロ対策 設備整備事業)	久木田 一朗	救急部	7,873,000	補 委	沖縄県
沖縄県地域医療介護総合 確保基金事業(特定行為研 修機関支援事業)	大屋 祐輔	キャリア形成支援 センター	250,000	補 委	沖縄県
令和2年度医師臨床研修費等 補助金(医師)	大屋 祐輔	病院長	12,307,000	補 委	沖縄県
沖縄県地域医療介護総合 確保基金事業(沖縄県外科 系医師育成事業)	大屋 祐輔	病院長	20,950,000	補 委	沖縄県
令和2年度移植対策(造血幹 細胞)事業費(造血幹細胞移 植医療体制整備事業)	大屋 祐輔	病院長	28,439,000	補 委	沖縄県

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補助元又は委託元	補助元又は委託元
新型コロナウイルス感染症患者等入院医療機関設備整備事業補助金	大屋 祐輔	病院長	145,473,000	補 委	沖縄県
感染症検査機関等設備整備事業	大屋 祐輔	病院長	17,556,000	補 委	沖縄県
新型コロナウイルス感染症を疑う患者受入れのための救急・周産期・小児医療体制確保事業①設備整備(空気清浄機等)	大屋 祐輔	病院長	12,849,000	補 委	沖縄県
新型コロナウイルス感染症を疑う患者受入れのための救急・周産期・小児医療体制確保事業②支援金支給事業	大屋 祐輔	病院長	78,978,000	補 委	沖縄県
新型コロナウイルス感染症重点医療機関等設備整備事業機器整備(空気清浄機等)	大屋 祐輔	病院長	150,551,000	補 委	沖縄県
新型コロナウイルス感染症医療機関協力金交付事業	大屋 祐輔	病院長	106,336,000	補 委	沖縄県
新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療機関緊急支援事業	大屋 祐輔	病院長	309,000,000	補 委	厚生労働省
国内流行HIV及びとその薬剤耐性株の長期的動向把握に関する研究	健山 正男	第一内科	450,000	補 委	日本医療研究開発機構
新規HTLV-1感染モデルを用いたHAMの発症予防法・治療法の開発	田中 勇悦	血液免疫検査学	2,300,000	補 委	日本医療研究開発機構
骨盤臓器脱及び下部尿路疾患の網羅的情報に基づいた選別化と個別化治療戦略	宮里 実	システム生理学	9,440,000	補 委	日本医療研究開発機構
新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業	青木 陽一	女性・生殖医学	200,000	補 委	日本医療研究開発機構
糖尿病合併冠動脈疾患レジストリを基盤としたコルヒチン第3相検証的試験の実施とRCT On Registryに向けたレジストリデータの品質管理と標準化に関する研究	植田 真一郎	臨床薬理学	1,179,536	補 委	日本医療研究開発機構
糖尿病の遺伝・環境因子の包括的解析から日本発次世代型精密医療を実現するプロジェクト	前田 士郎	先進ゲノム検査医学	1,153,847	補 委	日本医療研究開発機構
臨床研究プロフェッショナル育成プログラムの作成	植田 真一郎	臨床薬理学	13,000,000	補 委	日本医療研究開発機構
重症食物アレルギー患者への管理および治療の安全性向上に関する研究	益崎 裕章	内分泌代謝・血液・膠原病内科学	2,000,000	補 委	日本医療研究開発機構

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補	委
皮膚疾患画像ナショナルデータベースの拡充とAI活用診断支援システムの開発	高橋 健造	皮膚病態制御	2,300,000	補 ○	日本医療研究開発機構
上皮性卵巣癌の妊孕性温存治療の対象拡大のための非ランダム化検証的試験	青木 陽一	女性・生殖医学	750,000	補 ○	日本医療研究開発機構
国内医療機関からのヒト(同種)体性幹細胞原料の安定供給モデル事業	清水 雄介	形成外科学	3,000,000	補 ○	日本医療研究開発機構
研究倫理教育に関するモデル教材・プログラム等の開発	植田 真一郎	臨床薬理学	4,050,000	補 ○	日本医療研究開発機構
生活習慣病の予防・診療の質向上に資するエビデンス創出研究	前田 士郎	先進ゲノム検査	769,231	補 ○	日本医療研究開発機構
ゲノム情報により造血幹細胞移植の最適化を目指す研究	森島 聡子	先進ゲノム検査	500,000	補 ○	日本医療研究開発機構
シスプラチンを含む化学療法を施行される子宮がん患者の嘔気・嘔吐に対する六君子湯の効果ープラセボ対照無作為化二重盲検比較検証試験	青木 陽一	女性・生殖医学	400,000	補 ○	日本医療研究開発機構
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者における低容量コルヒチンによる宿主過剰炎症反応予防に向けた抗炎症治療の医師主導治験による開発	金城 武士	感染症・呼吸器・消化器内科学	2,300,000	補 ○	日本医療研究開発機構
国際展開をふまえた新規バイオマーカーを用いたスコア法によるIgA腎症早期発見・早期診断を介した透析移行ゼロ化に向けた試み	古波蔵 健太郎	血液浄化療法部	250,000	補 ○	日本医療研究開発機構
HAMの治療薬開発を促進する代替エンドポイントとしてのバイオマーカーの実用化研究	崎間 洋邦	第三内科	300,000	補 ○	日本医療研究開発機構
家族性LCAT欠損症を対象としたLCAT-GMAC治療実用化に向けた医師主導治験	益崎 裕章	内分泌代謝・血液・膠原病内科学	1,500,000	補 ○	日本医療研究開発機構
沖縄県地域統括相談支援センター事業	増田 昌人	がんセンター	7,332,559	補 ○	沖縄県
沖縄県がん患者等支援事業	増田 昌人	がんセンター	9,200,000	補 ○	沖縄県

計 122

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院におけ る所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Fujita J, Tasato D, Arakaki W, et al.	第一内科	Aspiration pneumonia by monoclonal growth of <i>Streptococcus pneumoniae</i> .	Internal Medicine. 2020 Apr 1;59(7):1011-1012.	Case report
2	Fujita J.	第一内科	Comparison of chest computed tomography findings in nontuberculous mycobacterial diseases and <i>Mycobacterium tuberculosis</i> lung disease.	Respiratory Investigation. 2020 May;58(3):134-136.	Others
3	Yamauchi M, Haranaga S, Parrott G, et al.	第一内科	Analysis of bronchoalveolar lavage samples collected from 30 patients with drug- induced pneumonitis.	Respiratory Investigation.2020 May;58(3):204-211.	Original Article
4	Hashioka H, Kami W, Miyazato K, et al.	第一内科	Hemobilia and cholangitis in hereditary hemorrhagic telangiectasia.	Polish Archives of Internal Medicine. 2020 May 29;130(5):440-441.	Case report
5	Hirai J, Sakanashi D, Momose M, et al.	第一内科	Case report of primary lung abscesses due to hypervirulent <i>Klebsiella pneumoniae</i> (Serotype K2, Sequence Type 375): an emerging isolate in Okinawa, Japan.	Infection and Drug Resistance. 2020 Jun 10;13:1691-1695.	Case report
6	Hirai J, Kinjo T, Haranaga S, et al.	第一内科	A case report of cerebral meningitis caused by penicillin-non-susceptible group B <i>Streptococcus</i> in an immunocompromised adult patient.	Infection and Drug Resistance. 2020 Jul 6;13:2155-2160.	Case report

7	Hirai J, Sakanashi D, Kinjo T, et al.	第一内科	The first case of community-acquired pneumonia due to capsular genotype K2-ST86 hypervirulent <i>Klebsiella pneumoniae</i> in Okinawa, Japan: A case report and literature review.	Infection and Drug Resistance. 2020 Jul 10;13:2237-2243.	Case report
8	Arakaki W, Kinjo T, Nakamura H, et al.	第一内科	Seizure followed by lung edema: An intriguing link between the brain and the lung.	Clinical Case Reports. 2020 Jul 15;8(11):2291-2292.	Case report
9	Nakamura H, Kinjo T, Arakaki W, et al.	第一内科	Serum levels of receptor-interacting protein kinase-3 in patients with COVID-19.	Critical Care. 2020 Aug 4;24(1):484.	Original Article
10	Fujita J.	第一内科	Clinical application of baloxavir marboxil in the treatment of influenza.	Respiratory Investigation. 2020 Sep;58(5):301-304.	Others
11	Fujita J, Kinjo T.	第一内科	Where is <i>Chlamydophila pneumoniae</i> pneumonia?.	Respiratory Investigation. 2020 Sep;58(5):336-343.	Review
12	Fujita J.	第一内科	SARS-CoV-2 as a causative agent of idiopathic interstitial pneumonia and interstitial pneumonia associated with collagen vascular disorders.	Respiratory Investigation. 2020 Oct 5;58(6):427-9.	Original Article
13	Nakamura H, Miyagi K, Otsuki M, et al.	第一内科	Use of the interleukin 6 inhibitor tocilizumab in Japanese patients with cytokine release syndrome caused by COVID-19-related acute respiratory distress syndrome: A case series.	Respiratory Investigation. 2020 Oct 7;58(6):510-2.	Letter
14	Nabeya D, Kinjo T, Yamaniha K, et al.	第一内科	Use of steroids to treat anti-tumor necrosis factor α induced tuberculosis-associated immune reconstitution inflammatory syndrome: Case report and literature review.	Medicine (Baltimore). 2020 Oct 23;99(43):e22076.	Case report

15	Nakamura H, Tateyama M, Tasato D, et al.	第一内科	Human immunodeficiency virus-associated pulmonary sarcoidosis in a Japanese man as a manifestation of immune reconstitution inflammatory syndrome.	Clinical Case Reports. 2020 Oct 27;8(12):3440-3444.	Case report
16	Shinzato A, Kinjo T, Miyagi T, et al.	第一内科	Hypertrophic pulmonary osteoarthropathy due to lung cancer: A case report and literature review.	Clinical Case Reports. 2020 Nov 3;8(12):3510-3514.	Case report
17	Hirai J, Kinjo T, Koga T, et al.	第一内科	Clinical characteristics of community-acquired pneumonia due to <i>Moraxella catarrhalis</i> in adults: a retrospective single-centre study.	BMC Infectious Diseases. 2020 Nov 10;20(1):821.	Original Article
18	Nakamura H, Miyagi K, Otsuki M, et al.	第一内科	Acute hypertriglyceridaemia caused by tocilizumab in a patient with severe COVID-19.	Internal Medicine. 2020 Nov 15;59(22):2945-2949.	Case report
19	Sunagawa S, Iha Y, Kinjo T, et al.	第一内科	Disappearance of summer influenza in the Okinawa prefecture during the severe acute respiratory syndrome coronavirus 2 (SARS-CoV-2) pandemic.	Respiratory Investigation. 2021 Jan;59(1):149-152.	Original Article
20	Sunagawa S, Iha Y, Kinjo T, et al.	第一内科	Role of zanamivir is likely to end in Okinawa, Japan.	Respiratory Investigation. 2021 Jan;59(1):159-161	Letter
21	Fujita J.	第一内科	<i>Mycoplasma pneumoniae</i> pneumonia and respiratory syncytial virus infection in Japan during the severe acute respiratory syndrome coronavirus 2 pandemic.	Respiratory Investigation. 2021 Jan;59(1):5-7.	Others
22	Furugen M, Shibahara D, Kiyuna T, et al.	第一内科	A long-term survivor keeping in a complete response without treatment after pemetrexed maintenance therapy for advanced non-squamous non-small cell lung cancer.	Clinical Case Reports. 2020 Dec 24;9(2):927-931.	Case report
23	Nakamura H, Ouchi G, Miyagi K, et al.	第一内科	Case Report: Iliopsoas Hematoma during the Clinical Course of Severe COVID-19 in Two Male Patients.	American Journal of Tropical Medicine and Hygiene. 2021 Jan 13;104(3):1018-21.	Case report

24	Nakamura H, Miyagi K, Otsuki M, et al.	第一内科	Serum KL-6 can distinguish between different phenotypes of severe COVID-19	Journal of Medical Virology. 2021 Jan;93(1):158-160.	Letter
25	Kinjo T, Hokama A, Nakamura H, et al.	第一内科	Case Report: Ischemic Enterocolitis Associated with Coronavirus Disease 2019: Two Case Reports and a Review of the Literature	American Journal of Tropical Medicine and Hygiene. 2021 Mar 18;104(5):1655-1658.	Case report
26	Hokama A, Miyagi T, Takeichi Y, et al.	光学医療診療部	Sausage-like fingers in Crohn's disease.	Intestinal Research. 2020 Jul; 18(3):341-342.	Case report
27	Hokama A, Haranaga S, Tanaka T, et al.	光学医療診療部	Pneumatosis intestinalis and hepatic portal venous gas in paralytic ileus due to <i>Strongyloides stercoralis</i> infestation.	Polish Archives of Internal Medicine. 2020 Aug 27;130(7-8):681-682.	Case report
28	Hokama A, Kinjo T, Fujita J.	光学医療診療部	Growing role of magnetic resonance enterography in the management of Crohn disease.	Polish Archives of Internal Medicine. 2020 Sep 30;130(9):724-725.	Others
29	Hokama A, Irei Y, Aoyama H, et al.	光学医療診療部	Jejunal schwannoma detected by video capsule endoscopy.	Revista espanola de enfermedades digestivas. 2020 Nov;112(11):883-884.	Case report
30	Hokama A, Omija H, Kishimoto K, et al.	光学医療診療部	Response to "Histopathological Mimics of Inflammatory Bowel Disease".	Inflammatory Bowel Diseases. 2021 Jan 1;27(1):e5-e6.	Letter
31	Hokama A, Kishimoto K.	光学医療診療部	Image of the Month: Target the bugs: <i>Strongyloides stercoralis</i> hyperinfection.	Clinical Medicine (London). 2021 Mar;21(2):e239-e240.	Case report
32	Takeshima E, Hokama A, Fujita J.	光学医療診療部	Pseudomembranous enteritis presenting protein-losing enteropathy	Clinical Gastroenterology and Hepatology. 2020 Jul 16;S1542-3565(20)30983-6.	Case report

33	Hokama A, Chinen H, Fujita J.	光学医療診療部	<i>Tropheryma whipplei</i> : an unusual cause of the accumulation in positron emission tomography	Clinical Microbiology and Infection. 2020 Dec 21;S1198-743X(20)30771-0.	Case report
34	Millman J, Okamoto S, Kimura A, et al.	第二内科	Metabolically and immunologically beneficial impact of extra virgin olive and flaxseed oils on composition of gut microbiota in mice	Eur J Nutr. 2020 Sep;59(6):2411-2425.	Original Article
35	Millman JF, Okamoto S, Teruya T, et al.	第二内科	Extra-virgin olive oil and the gut-brain axis: influence on gut microbiota, mucosal immunity, and cardiometabolic and cognitive health	Nutr Rev. 2021 Feb 12;nuaa148.	Original Article
36	Morishima S, Fukuda T, Doki N, et al.	第二内科	Individual HLAs influence immunological events in allogeneic stem cell transplantation from HLA-identical sibling donors	Bone Marrow Transplant. 2021 Mar;56(3):646-654.	Others
37	Oshiro N, Kohagura K, Zamami R, et al.	第三内科	Incidental detection of <i>Corynebacterium jeikeium</i> endocarditis via regular blood examination in an afebrile hemodialysis patient.	CEN Case Reports. 020 Aug;9(3):220-224.	Case report
38	Ikemiyagi H, Ishida A, Kinjo K, et al.	第三内科	A high normal ankle-brachial index is associated with electrocardiography-determined left ventricular hypertrophy.	Journal of Hypertension. 2020 Nov;38(11):2185-2191.	Original Article
39	Kohagura K, Kochi M, Zamami R, et al.	第三内科	Understanding the Complex Interaction Between Uric Acid and Hypertension.	Am J Hypertens. 2020 Sep 10;33(9):822-824.	Case report
40	N Oshiro, K Kohagura, S Tsuneyoshi, et al.	第三内科	Changes in serum concentration of rilpivirine in an HIV-infected patient treated with a combination therapy of hemodialysis and peritoneal dialysis.	Renal Replacement Therapy. 2020 Aug;6(33)	Case report
41	Zamami R, Ishida A, Miyagi T, et al.	第三内科	A high normal ankle-brachial index is associated with biopsy-proven severe renal small artery intimal thickening and impaired renal function in chronic kidney disease	Hypertension Research 2020 Sep ;43(9):929-937.	Original Article

42	Toma Y.	第三内科	How to Bail Out Patients with Severe Acute Myocardial Infarction.	Heart Fail Clin. 2020 Apr;16(2):177-186.	Review
43	Usugi R, Nishimura M, Ishiuchi S.	脳神経外科	Analysis of human hippocampal volumetry in relation to pattern separation ability in healthy young subjects.	Brain and Behavior 10(12). 2020 December	Original Article
44	Oshiro H, Tome Y, Miyake K, et al.	整形外科	A Novel Orthotopic Mouse Model of Lung Metastasis Using Fluorescent Patient-derived Osteosarcoma Cells.	Anticancer Research. 2021 Feb; 41(2): 635-640.	Original Article
45	Chinen S, Okubo H, Kusano N, et al.	整形外科	Effects of Different Core Suture Lengths on Tensile Strength of Multiple-Strand Sutures for Flexor Tendon Repair	Journal of Hand Surgery Global Online. 2020 Nov; 3(1):41-46.	Original Article
46	Ntege E, Sunami H, Shimizu Y.	形成外科	Advances in regenerative therapy: A review of the literature and future directions.	Regenerative Therapy June 2020, Volume 14, Pages 136-153	Review
47	Shimizu Y, Kishi K.	形成外科	Reconstruction of large perineal defects after advanced malignant tumour resection: a simple gluteal thigh flap modification.	J Plast Surg Hand Surg . 2020 Oct;54(5):280-283	Original Article
48	Sunami H, Shimizu Y, Denda J, et al.	形成外科	A 3D microfabricated scaffold system for unidirectional cell migration.	Adv Biosyst. 2020 Oct; 4(10):e2000113.	Original Article
49	Ntege E, Sunami H, Denda J, et al.	形成外科	Effects of Hydroxyapatite-Coated Nonwoven Polyethylene /Polypropylene Fabric on Non-mesodermal Lineage-Specific Differentiation of Human Adipose-Derived Stem Cells.	BMC Res Notes. 2020 Oct 7;13(1):471	Original Article
50	Shimoji Y, Nagai Y, Toita T, et al.	産婦人科	A phase II study of neoadjuvant chemotherapy followed by extended field concurrent chemoradiotherapy for para-aortic lymph node positive cervical cancer.	Anticancer Research 2020 Jun; 40(6): 3565-3570.	Original Article

51	Nakasone T, Taira Y, Shimoji Y, et al.	産婦人科	Hysterectomy for recurrent/residual cervical cancer following definitive radiotherapy.	In Vivo 2020 Jul-Aug; 34(4): 2173-2177.	Original Article
52	Nakamura R, Shimoji Y, Nakasone T, et al.	産婦人科	Malignant bowel obstruction in recurrent gynecologic cancer: Who will benefit from palliative surgical intervention.	European Journal of Gynaecological Oncology 2020 Aug 15; 41(4) :513-516.	Original Article
53	Arakaki Y, Ariga T, Heianna J, et al.	産婦人科	Long-term outcomes of cervical adenocarcinoma treated with concurrent chemoradiotherapy using paclitaxel and cisplatin.	In Vivo 2020 Sept; 34: 2739-2743.	Original Article
54	Taira Y, Shimoji Y, Nakasone T, et al.	産婦人科	Usefulness of separately evaluating lymphatic and venous vessel invasion in cervical adenocarcinoma.	Ryukyu Medical Journal 2020 Jul; 39: 21-28.	Original Article
55	Akamine K, Mekaru K, Gibo K, et al.	産婦人科	Impact of the one-carbon metabolism on oocyte maturation, fertilization, embryo quality, and subsequent pregnancy.	Reproductive Medicine and Biology. 2020 Oct 25;20(1):76-82.	Original Article
56	Taira Y, Shimoji Y, Nakasone T, et al.	産婦人科	A case of nasal septal perforation caused by bevacizumab for advanced cervical cancer.	Journal of Obstetrics and Gynaecological Research. 2021 Feb;47(2):833-837.	Case report
57	Arakaki Y, Mekaru K, Shimoji Y, et al.	産婦人科	Threatened uterine rupture following laparoscopic surgery in interstitial tubal pregnancy.	Journal of Obstetrics and Gynaecological Research. 2021 Feb;47(2):818-821.	Case report
58	Watanabe T, Kinjo T, Kinjyo Y, et al.	産婦人科	Sigmoid Volvulus in Pregnancy Assessed by Contrast-Enhanced Computed Tomography Scanning.	Case Reports in Obstetrics and Gynecology 2021 Mar 3;2021:6692483. doi: 10.1155/2021/6692483.	Case report
59	Nakamura R, Shimoji Y, Nakasone T, et al.	産婦人科	Relative dose intensity and overall treatment time in older patients with cervical cancer treated with concurrent chemoradiotherapy.	J Geriatr Oncol. 2021 Mar;12(2):332-334. .	Original Article

60	Yara N, Kinjo T, Ohki Y, et al.	産婦人科	Usefulness of magnetic resonance imaging in antenatal diagnosis of vasa previa: A Case Report.	Gynecological and Obstetrical Case Reports 2021 Mar 31; 7: No.3:9.	Case report
61	Chinen Y, Yanagi K, Nakamura S, et al.	小児科	A novel homozygous missense SLC25A20 mutation in three CACT-deficient patients: clinical and autopsy data.	Hum Genome Var. 7: 11, 2020 Apr.	Original Article
62	Nakamura S, Chinen Y, Satou K, et al.	小児科	A severe case of status dystonicus caused by a de novo KMT2B missense mutation.	Eur J Med Genet. 63: 104057, 2020 Nov.	Case report
63	Sakugawa H, Hayashi K, Uema M, et al.	皮膚科	Carney complex 1 with PRKAR1A mutations presented with multiple repeated skin myxomas: a case report.	The Journal of Dermatology 47: e122-e124, 2020 Apr.	Case report
64	Utsumi D, Yasuda M, Amano H, et al.	皮膚科	Hair abnormality in Netherton syndrome observed under polarized light microscopy.	Journal of the American Academy of Dermatology 83: 847-853, 2020 Sep.	Original Article
65	Omine T, Yamaguchi S, Yasumura R, et al.	皮膚科	Iatrogenic Kaposi's sarcoma in a myelofibrosis patient treated with ruxolitinib.	The Journal of Dermatology 47: e131-e132, 2020 Apr.	Letter
66	Komatsu K, Yamaguchi S, Yasumura R, et al.	皮膚科	Cutaneous abscess due to Candida dubliniensis: A case report.	The Journal of Dermatology 47: e253-e254, 2020 Jul.	Letter
67	Omine T, Miyagi T, Hayashi K, et al.	皮膚科	Clinical characteristics of hidradenitis suppurativa patients in Okinawa, Japan: Differences between East Asia and Western countries.	The Journal of Dermatology 47: 855-862, 2020 Aug.	Original Article
68	Komatsu K, Yamaguchi S, Utsumi D, et. Al.	皮膚科	A Case of Dominant Dystrophic Epidermolysis Bullosa with a G2043R Mutation in the Type VII Collagen Gene	Acta Dermatovenerol Croat . 2020 Dec;28(4):251-252.	Case report

69	Motonaga A, Nakanishi S, Tanaka K, et al.	腎泌尿器外科	Hypophysitis induced by ipilimumab and nivolumab combination therapy for advanced renal cell carcinoma: A case report.	Urol Case Rep 2021 Mar 26; 38: 101661.	Case report
70	Ashikari A, Suda T, Miyazato M.	腎泌尿器外科	Collagen type 1A1,type 3A1, and LOXL1/4 polymorphisms as risk factors of pelvic organ prolapse.	BMC Research Notes.2021 Jan 7;14(1):15.	Original Article
71	Hirakawa H, Ikegami T, Azechi S, et al.	耳鼻咽喉科	Induction Chemotherapy in Hypopharyngeal Cancer: Influence of DNA Repair Gene Polymorphisms.	Anticancer research. 2020 Jun;40(6):3277-3285.	Original Article
72	Kiyuna A, Kise N, Hiratsuka M, et al.	耳鼻咽喉科	Brain Activity in Patients With Unilateral Vocal Fold Paralysis Detected by Functional Magnetic Resonance Imaging.	Journal of voice. 2020 Aug 30;S0892-1997(20)30294-0.	Original Article
73	Maeda H, Terukina R, Masashi N, et al.	耳鼻咽喉科	Right ventricular outflow obstruction induced by tumor embolus of anaplastic thyroid carcinoma.	Otolaryngology Case Reports. 2020 June;15 100161.	Case report
74	Kondo S, Hirakawa H, Ikegami T, et al.	耳鼻咽喉科	Raptor and rictor expression in patients with human papillomavirus-related oropharyngeal squamous cell carcinoma.	BioMed Central cancer. 2021 Jan;21(1):87.	Original Article
75	Ikegami T, Hirakawa H, Tsukahara N, et al.	耳鼻咽喉科	Coordinated Expression of HPV-6 Genes with Predominant E4 and E5 Expression in Laryngeal Papilloma.	Microorganisms. 2021 Mar ;9(3):520.	Original Article
76	Koizumi H, Yamamoto A, Ogasawara M, et al.	眼科	Macular atrophy after aflibercept therapy for neovascular age-related macular degeneration: outcomes of Japanese multicenter study.	Japanese Journal of Ophthalmology. 2020 Jul; 64(4):338-345.	Original Article
77	Terao N, Koizumi H, Kojima K, et al.	眼科	Short axial length and hyperopic refractive error are risk factors of central serous chorioretinopathy.	The British Journal of Ophthalmology. 2020 Sep; 104(9):1260-1265.	Original Article

78	Arakaki Y, Sawaguchi S, Iwase A, et al.	眼科	Pseudoexfoliation syndrome and relating factors in a rural Japanese population: the Kumejima Study.	Acta ophthalmologica. 2020 Nov; 98(7):888-894/(オンライン)	Original Article
79	Imanaga N, Terao N, Nakamine S, et al.	眼科	Scleral Thickness in Central Ssrous Chorioretinopathy.	Ophthalmology Retina. 2021 Mar; 5(3):285-291.	Original Article
80	Ishibashi T, Shinzato H, Zamami Y, et al.	精神科神経科	Psychopathology and clinical outcomes of first-visit outpatients under 20 years old exhibiting a psychotic state.	Ryukyu Med J. 2020 Oct; 39: 29-40.	Original Article
81	Kusada T, Toita T, Ariga T, et al.	放射線科	Definitive radiotherapy consisting of whole pelvic radiotherapy with no central shielding and CT-based intracavitary brachytherapy for cervical cancer: feasibility, toxicity, and oncologic outcomes in Japanese patients.	International Journal of Clinical Oncology. 2020 Nov;25(11):1977-1984.	Original Article
82	Maemoto H, Iraha S, Arashiro K, et al.	放射線科	Risk factors of recurrence after postoperative electron beam radiation therapy for keloid: Comparison of long-term local control rate.	Reports of Practical Oncology and Radiotherapy. Jul-Aug 2020;25(4):606-611.	Original Article
83	Tsuchiya N, Schiebler ML, Evans MD, et al.	放射線科	Safety of repeated hyperpolarized helium 3 magnetic resonance imaging in pediatric asthma patients.	Pediatric radiology. 2020 May;50(5):646-655.	Original Article
84	Tsuchiya N, Iwasawa T, Ogura T, et al.	放射線科	Pulmonary flow assessment by phase-contrast MRI can predict short-term mortality of fibrosing interstitial lung diseases.	Acta radiologica. 2020 Oct;61(10):1350-1358.	Original Article
85	Tsuchiya N, Benson DG, Longhurst C, et al.	放射線科	Interobserver agreement for the direct and indirect signs of pulmonary embolism evaluated using contrast enhanced magnetic angiography.	European journal of radiology Open.2020 Sep 10;7:100256.	Original Article
86	Tomori Y, Yamashiro T, Tomita H, et al.	放射線科	CT radiomics analysis of lung cancers: Differentiation of squamous cell carcinoma from adenocarcinoma, a correlative study with FDG uptake.	European journal of radiology.2020 Jul;128:109032.	Original Article

87	Heianna J, Makino W, Toguchi M, et al.	放射線科	Transarterial Chemoembolization for the Palliation of Painful Bone Metastases Refractory to First-Line Radiotherapy.	Journal of vascular and interventional radiology.2021 Mar;32(3):384-392.	Original Article
88	Ishikawa K, Yamashiro T, Ariga T, et al.	放射線科	Predictive factors of posttreatment fracture by definitive radiotherapy for uterine cervical cancer.	Japanese journal of radiology.2021 Jan;39(1):93- 99.	Original Article
89	Heianna J, Yamashita Y, Iraha Y, et al.	放射線科	A rare case of cerebral hemorrhage associated with intra-arterial infusion chemotherapy for advanced sphenoid sinus cancer.	Journal of cancer research and therapeutics.Apr-Jun 2020;16(3):686-689.	Case report
90	Kusada T, Ito M, Karube K, et al.	放射線科	Indocyanine green fluorescence angiography for detection of cutaneous angiosarcoma of the scalp: A case report.	Photodiagnosis and photodynamic therapy.2020 Dec;32:102087.	Case report
91	Nakajima N.	地域・国際医療部	The effectiveness of artificial hydration therapy for patients with terminal cancer having overhydration symptoms based on the Japanese clinical guidelines.	American Journal of Hospice and Palliative Medicine. 2020: July; 37(7): 521-526	Original Article
92	Nakajima N.	地域・国際医療部	Differential diagnosis of cachexia and refractory cachexia and the impact of appropriate nutritional intervention for cachexia on survival in terminal cancer patients.	Nutrients. 2021. Mar. 12. 13(3): 915 (オンライン)	Original Article
93	Kohagura K,Kochi M, Zamami R,et al.	血液浄化療法部	Understanding the Complex Interaction Between Uric Acid and Hypertension.	American Journal of Hypertension.2020 Sep 10;33(9):822-824.	Original Article
94	Kohagura K, Yamasaki H, Takano H, et al.	血液浄化療法部	Luseoglitflozin, a sodium- glucose cotransporter 2 inhibitor, preserves renal function irrespective of acute changes in the estimated glomerular filtration rate in Japanese patients with type 2 diabetes.	Hypertension Research.2020 Sep 43(9);876-883.	Original Article
95	Zamami R, Ishida A, Miyagi T, et al.	血液浄化療法部	A high normal ankle -brachial index is associated with biopsy-proven severe renal small artery intimal thickening and impaired renal function in chronic kidney disease.	Hypertension Research.2020 Sep 43(9);929-937.	Original Article

96	Karube K, Takatori M, Sakihama S et al.	病理部	Clinicopathological features of adult T-cell leukemia/lymphoma with HTLV-1-infected Hodgkin and Reed-Sternberg-like cells	Blood Adv 2021 Jan 12;5(1):198-206.	Original Article
97	Karube K, Takatori M, Kohno K et al.	病理部	Co-occurrence of EBV- positive classic Hodgkin lymphoma and B-cell lymphomas of different clonal origins: A case report and literature review	Pathol Int 2020 Nov;70(11):893-898.	Case report
98	Tsuruta Y, Karube K.	病理診断科	Hodgkin and Reed-Sternberg- like cells infected with human T-cell leukemia virus type 1	Blood. 2020 Jul 9;136(2):257.	Case report
99	Karube K, Nakada N, Yamamoto H.	病理部	Primary bone anaplastic large cell lymphoma of lymphohistiocytic variant, ALK-negative: A challenging diagnosis	Pathol Int 2020 Jun;70(6):376-378.	Case report
100	Higa S, Nagano T, Yamashiro S, et al.	第二外科	Mitral valve perforation during transcatheter aortic valve replacement	Asian Cardiovascular & Thoracic Annals. 2020 June 1	Case report
101	Sekiguchi H, Minei A, Noborikawa M, et al.	救急医学講座	Difference in electromyographic activity between the trapezius muscle and other neck accessory muscles under an increase in inspiratory resistive loading in the supine position	Respiratory Physiology & Neurobiology. July, 2020. Volume 281, pp.1-7.	Original Article
102	Fukuda T, Sekiguchi H, Taira T, et al.	救急医学講座	Type of advanced airway and survival after pediatric out-of- hospital cardiac arrest	Resuscitation. May, 2020. 150, pp.145-153.	Original Article
103	Kinjo T, Tadokoro T, Tokushige A,	麻酔科	Effects of Perioperative Administration of Acetaminophen on Postoperative Shivering: A Randomized, Triple-Blind, Placebo-Controlled Trial	Anesth Analg 2020 Apr;130(4):983-990	Original Article
104	Miyagi Y, Kinjo T, Yoshizumi Y, et al	第一外科	Elective staged proctocolectomy and living donor liver transplantation for colon cancer with sclerosing cholangitis-related ulcerative colitis: a case report	Surgical Case Reports. 2020 Nov 1;6(1):278	Case report

105	Uesato Y, Tamashiro K, Takatsuki M	第一外科	Long-term survival after repeated resection for lung metastasis originating from pancreatic cancer: a case report	Surgical Case Reports. 2020 Apr 7;6(1):66	Case report
106	Uesato Y, Sasahira N, Ozaka M, et al	第一外科	Evaluation of Circulating Tumor DNA as a Biomarker in Pancreatic Cancer With Liver Metastasis	PLoS One. 2020 Jul 2;15(7):e0235623	Original Article
107	Uesato Y, Takatsuki M	第一外科	A Case of bilateral concomitant inguinal and femoral hernias treated with transabdominal preperitoneal repair	Clin Case Rep. 2020 Sep 8;8(12):2865-2868	Case report
108	Takatsuki M, Eguchi S	第一外科	ABO incompatibility as a possible risk factor for hepatic artery thrombosis in living donor liver transplantation	Ann Transl Med. 2020 May;8(10):616.	Others
109	Maruyama N, Umikawa M, Matsumoto H, et al.	歯科口腔外科	miR-935 Inhibits Oral Squamous Cell Carcinoma and Targets Inositol Polyphosphate-4-phosphatase Type IA (INPP4A).	Anticancer research. 2020 Nov;40(11):6101-6113.	Original Article
110	Matayoshi A, Nakasone T, Makishi S, et al.	歯科口腔外科	Plunging Ranula;Extended to the Inferior Lingular;Segment of the Left Lung	JOMSMP. 2021 Mar;33(2):169-172.	Case report
111	Kato T, Matayoshi A, Nakasone T.	歯科口腔外科	A case of oral cancer with preoperative transcatheter aortic valve implantation for aortic stenosis: A case report.	Molecular and clinical oncology. 2020 Oct;13(4):36.	Case report
112	Maruyama N, Okubo Y, Umikawa M. et al.	歯科口腔外科	Quadruple Multiple Primary Malignancies: Early Detection of Second Primary Malignancy by Esophagogastroduodenoscopy/Colonoscopy Is Crucial for Patients with Classic Kaposi's Sarcoma.	Diagnostics. 2020 Apr 14;10(4):218.	Case report

113	Kataoka K, Fujita H, Isa M.et al.	歯科口腔外科	The human EDAR 370V/A polymorphism affects tooth root morphology potentially through the modification of a reaction-diffusion system	Scientific Reports, 2021 Mar 4;11(1):5143. (オンライン)	Original Article
~					

計 113件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名・出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	益崎 裕章	第二内科	バランスの良い食生活を 支える頼れるパート ナー：玄米食の勧め	月刊 糖尿病ライフ さか え (日本糖尿病協会) 60(6):17-22, 2020 Jun	Original Article
2	益崎 裕章	第二内科	人生100年時代を支え る”食のあるべき姿“を 科学する	むすび (生食協会) 64 (7):2-3, 2020 Jul	Original Article
3	益崎 裕 章、岡本 士毅	第二内科	肥満症に伴う認知機能障 害:脳科学基礎研究の動 向	肥満研究 (日本肥満学 会) 26:238-244, 2020 Aug	Original Article
4	益崎 裕章	第二内科	動物性脂肪に対する嗜好 性と生活習慣病	日本医師会雑誌 (日本医 師会) 149:1072, 2020 Sep	Original Article
5	益崎 裕章、 稲嶺 進、岡 本 士毅	第二内科	肥満・糖尿病の予防	メタボリックサージェ リー (メディカ出版) 222-225, 2020 Oct	Original Article
6	益崎 裕章	第二内科	脳科学の進歩をふまえた 肥満症・糖尿病に対する 効果的な食事療法とは?	日本医事新報 (日本医事 新報社) 5029:50-51, 2020 Sep	Original Article
7	益崎 裕章、 山城 清人、 竹本 のぞみ	第二内科	動脈硬化のリスクとして の肥満症・メタボリック シンドロームの 臨床的位置づけ	診断と治療 (診断と治療 社) 108:1293-1297, 2020 Oct	Original Article
8	岡本 士毅、 箕越 靖彦、 益崎 裕章	第二内科	ストレスによる食行動の 変容メカニズム	実験医学 別冊 もっとよ くわかる!食と栄養のサ イエンス (羊土社) 187-198, 2021 Feb	Original Article
9	久場 美鈴、 岡本 士毅、 上間 次己、 et al.	第二内科	肥満外科手術後早期にお ける減量効果に寄与する 要因の探索	肥満研究 (日本肥満学 会) 26:291-299, 2020 Aug	Original Article
10	當間 裕一郎	第三内科	【キケンを察知!フレ イル・認知症…心不全患者 さんの併存症ケア】慢性 腎臓病の患者さんがやっ てきた!	ハートナーシング (0914-2819) 33(9): 866- 873, 2020 Sep	Others
11	池宮城秀 一、石田明 夫、大屋祐 輔	第三内科	特集/糖尿診療の最前線 糖尿病の合併症 大血管 症	臨床と研究・98巻1号: 40-44, 令和3年1月	Others
12	Higa S, Nagano T, Uejo A, et al	第二外科	IMPEDEを用いて右内腸骨 動脈を塞栓EVARを施行 した1例	沖縄医学会雑誌. 2020 Dec ; 59 : 167-170	Case report

13	仲宗根哲, 石原昌人, 翁長正道ら	整形外科	【股関節領域の術前・術中支援技術 Up to date】 術中手術支援 仰臥位THA のための簡便な術中カッ プ設置支援デバイス HipPointer いつでも、ど こでも、誰とでも正確な カップ設置 (解説/特集)	関節外科. 2020 Jun; 39 (6): 688-694.	Review
14	大中敬子, 大久保宏貴, 金城政樹ら	整形外科	尺骨神経内ガングリオン によるGuyon管症候群の1 例	末梢神経. 2020 Jun; 31 (1): 160-164.	Case report
15	島袋孝尚, 西田康太郎	整形外科	頸・肩・腰痛の最新の診 断と治療】腰痛の診療 腰部脊柱管狭窄症 (解説/ 特集)	臨床と研究. 2020 Jul; 97 (7): 844-850.	Review
16	東千夏, 山 中理菜, 比 嘉浩太郎ら	整形外科	関節リウマチ患者に対す る自己記入式足部足関節 評価質問票 (SAFE-Q) の調 査	日本足の外科学会雑誌. 2020 Aug; 41 (1): 167- 169.	Original Article
17	知念修子, 高江洲美香, 仲宗根素子 ら	整形外科	橈骨遠位端骨折術後に掌 側月状骨窩骨片の転位を 生じた3例	骨折. 2020 Aug; 42 (4): 1149-1153.	Original Article
18	伊藤尚弘, 高江洲美香, 仲宗根哲ら	整形外科	不安定型大腿骨転子部骨 折に対するmiddle femoral nailの使用経験	Hip Joint. 2020 Aug; 46 (1): 64-67.	Original Article
19	青木佑介, 大湾一郎, 鷺崎郁之ら	整形外科	仰臥位前方アプローチに よる人工股関節全置換術 における大腿骨挙上に関 与する因子の検討	Hip Joint. 2020 Aug; 46 (1): 147-149.	Original Article
20	仲宗根哲, 石原昌人, 翁長正道ら	整形外科	側臥位THAにおける機能的 骨盤基準面を参照した カップ設置支援デバイス を用いたカップ設置精度	Hip Joint. 2020 Aug; 46 (1): 219-224.	Original Article
21	翁長正道, 仲宗根哲, 石原昌人ら	整形外科	DAA-THAにおける大腿骨挙 上デバイスを用いたテー パーウェッジ型ステムの 設置角度の検討	Hip Joint. 2020 Aug; 46 (2): 857-860.	Original Article
22	石原昌人, 仲宗根哲, 翁長正道ら	整形外科	当院における急速破壊型 股関節症に対してTHAを 行った症例の検討	Hip Joint. 2020 Aug; 46 (2): 1112-1115.	Original Article
23	水田康平, 大久保宏貴, 大中敬子ら	整形外科	若年者キーンバック病に 対して橈骨短縮骨切り術 を行った1例	整形外科と災害外科. 2020 Sep; 69 (3): 508- 511.	Case report
24	青木佑介, 山口浩, 伊 佐智博ら	整形外科	上腕骨近位端骨折後内反 変形の3例	整形外科と災害外科. 2020 Sep; 69 (3): 578- 581.	Case report

25	当真孝, 山口浩, 大城裕理ら	整形外科	頭部外傷に肩関節周囲外傷を合併した3例	整形外科と災害外科. 2020 Sep; 69 (3) ; 585-589.	Case report
26	青木佑介, 大湾一郎, 伊佐智博ら	整形外科	大腿骨頸部骨折に対する人工骨頭置換術後の術前心機能と歩行能力、生命予後の関係	整形外科と災害外科. 2020 Sep; 69 (3) : 678-680.	Original Article
27	津覇雄一, 山口浩, 当真孝ら	整形外科	肩腱板広範囲断裂を合併した肩関節不安定症の1例	整形外科と災害外科. 2020 Sep; 69 (3) : 570-573.	Case report
28	青木佑介, 伊佐智博, 森山朝裕ら	整形外科	レボフロキサシン服用後にアキレス腱断裂を受傷した若年患者の1例	整形外科と災害外科. 2020 Sep; 69 (3) : 625-627.	Case report
29	藤本泰毅, 東千夏, 比嘉浩太郎ら	整形外科	当院における両側同時人工膝関節置換術の臨床成績	整形外科と災害外科. 2020 Sep; 69 (4) : 864-866.	Original Article
30	翁長正道, 仲宗根哲, 石原昌人ら	整形外科	DAA-THAにおけるテーパウェッジ型ステムアライメントと頸部骨切りレベルの検討	日本人工関節学会誌. 2020 Dec; 50: 311-312.	Original Article
31	石原昌人, 仲宗根哲, 翁長正道ら	整形外科	THA後反復性脱臼に対してcup in cup再置換術を行った1例	日本人工関節学会誌. 2020 Dec; 50: 513-514.	Case report
32	大中敬子, 大久保宏貴, 金城政樹ら	整形外科	小児手関節骨折の疫学調査	日本手外科学会雑誌. 2020 Dec; 37 (2) : 72-75.	Original Article
33	山中理菜, 神谷武志, 西田康太郎.	整形外科	当科におけるDobbs dynamic clubfoot barの使用経験	日本小児整形外科学会雑誌. 2020 Dec; 29 (2) : 213-216.	Original Article
34	仲宗根素子, 金谷文則, 大久保宏貴ら	整形外科	当科におけるWassel分類4型の母指多指症の術後成績	日本手外科学会雑誌. 2021 Mar; 37 (5) : 653-656.	Original Article
35	仲宗根素子, 金城政樹, 大中敬子ら	整形外科	先天性内反肘に伴う後外側回旋不安定症に対して上腕骨矯正骨切り術と靱帯再建術を行った1例	日本肘関節学会雑誌. 2021 Mar; 27 (2) : 8-11.	Case report
36	大久保宏貴, 大中敬子, 仲宗根素子ら	整形外科	上腕二頭筋腱遠位皮下断裂の治療経験	日本肘関節学会雑誌. 2021 Mar; 27 (2) : 189-192.	Original Article
37	大中敬子, 大久保宏貴, 金城政樹ら	整形外科	小児内反肘変形に対する患者適合型変形矯正カッピングガイドの治療経験 従来法との比較	日本肘関節学会雑誌. 2021 Mar; 27 (2) : 208-211.	Original Article

38	金城政樹, 大久保宏貴, 大中敬子ら	整形外科	上腕骨の穿孔、骨欠損に 対して腸骨移植を併用し て人工肘関節再置換術を 施行したRA肘の3例	日本肘関節学会雑誌. 2021 Mar; 27 (2): 345- 349.	Case report
39	橋本雄太, 石原昌人, 仲宗根哲ら	整形外科	コラーゲンタイプ2異常症 に対してセメントレス人 工股関節置換術を行った 一例	整形外科と災害外科. 2021 Mar; 70 (1): 30- 33.	Case report
40	翁長正道, 仲宗根哲, 石原昌人ら	整形外科	人工股関節置換術後に座 位で前方脱臼を生じた1例	整形外科と災害外科. 2021 Mar; 70 (1): 38- 41.	Case report
41	山城正一郎, 金城政樹, 金城忠克ら	整形外科	両側特発性母指ボタン ホール変形の1例	整形外科と災害外科. 2021 Mar; 70 (1): 111- 114.	Case report
42	清水 雄介	形成外科	先天性眼瞼下垂に対する 眼瞼下垂手術	PEPARS 160 2020年4月 眼瞼下垂手術 整容と機 能の両面アプローチ p. 58-69,	Original Article
43	大石杉子, 銘苅桂子, 仲村理恵, 他	産婦人科	周術期抗凝固療法を行い 腹腔鏡下卵巣嚢腫核出術 後4日後に大量出血をきた した卵巣成熟奇形腫の1 例: 周術期抗凝固療法の リスクを再考する.	Ryukyu Medical Journal 2020 Oct; 39: 59-64.	Case report
44	青木陽一	産婦人科	発熱診療のポイント 婦 人科領域の発熱	臨牀と研究 2020 Oct; 97 (10): 1260-1264.	Review
45	仲村和歌 子, 下地裕 子, 仲宗根 忠栄, 他	産婦人科	子宮頸癌に対する卵巣温 存子宮全摘出症例の予後 および卵巣機能につい て.	沖縄産科婦人科学会誌 2021 Mar; 43: 5-12.	Original Article
46	知念終子, 仲本朋子, 仲村和歌 子, 他	産婦人科	黄体ホルモン療法後の再 発子宮内膜異型増殖症お よび子宮体癌に対する黄 体ホルモン再投与の検 討.	沖縄産科婦人科学会誌 2021 Mar; 43: 13-18.	Original Article
47	仲村理恵, 下地裕子, 仲宗根忠栄, 他	産婦人科	当院における卵巣癌患者 のコンパニオン診断とし て行われるBRCA1/2遺伝子 検査の現況について.	沖縄産科婦人科学会誌 2021 Mar; 43: 19-25.	Original Article
48	河野智穂, 宮城真帆, 宜保敬也, 他	産婦人科	当科におけるTesticular sperm extraction (TESE) について	沖縄産科婦人科学会誌 2021 Mar; 43: 26-31.	Original Article
49	屋比久彩, 赤嶺こずえ, 仲村理恵, 他	産婦人科	当科における筋腫核出術 後の周産期予後について	沖縄産科婦人科学会誌 2021 Mar; 43: 45-50.	Original Article

50	玉城夏季, 金城忠嗣, 山田久子, 他	産婦人科	当科における胎児発育不全に対する管理の検討	沖縄産科婦人科学会誌 2021 Mar; 43: 59-57.	Original Article
51	池村晶子, 正本仁, 屋 良奈七, 他	産婦人科	妊娠糖尿病合併双胎妊娠におけるSmall for gestational age児発生率の検討	沖縄産科婦人科学会誌 2021 Mar; 43: 75-79.	Original Article
52	金城淑乃, 銘莉桂子, 屋良奈七, 他	産婦人科	当科におけるジノプロトン腔用剤の使用経験について ~重体の器械的子宮頸管拡張との比較検討~	沖縄産科婦人科学会誌 2021 Mar; 43: 87-93.	Original Article
53	高江洲朋子, 大石杉子, 宜保敬也, 他	産婦人科	妊孕性温存目的に卵子凍結を行いがん治療後に胚移植に至った2例	沖縄産科婦人科学会誌 2021 Mar; 43: 115-118.	Case report
54	黒川慎吾, 知念安紹, 小椋奈緒. et al.	小児科	新生児タンデムマススクリーニングにより急性発症に早期対応したプロピオン酸血症の一例	沖縄医学会雑誌, 58 (4) : 20-24, 2020.	Case report
55	阿部仁美, 浜田聡, 屋 宜孟. et al.	小児科	横隔膜ヘルニア, 先天性肺気道奇形 (CPAM) と鑑別を要したDICER1遺伝子変異を伴う胸膜肺芽腫の一例	日本小児血液・がん学会別 雑誌57: 168-172, 2020.	Case report
56	内原志野, 仲村貞郎, 金城紀子. et al.	小児科	発症早期にステロイドパルス療法と軽度脳低温療法を併用した急性壊死性脳症の一例	日本小児救急医学会雑誌, 19 (3) : 333-337, 2020 Nov.	Case report
57	佐久川裕行, 山口さやか, 山城充士 他	皮膚科	妊婦に生じた悪性黒色腫の1例.	西日本皮膚科 82: 94-98, 2020 Apr.	Case report
58	與那嶺周平, 松尾雄司, 山口さやか 他	皮膚科	【これだけは知っておきたい間葉系腫瘍】イミキモドクリームが著効した古典型Kaposi肉腫.	皮膚病診療 42: 434-437, 2020 May.	Case report
59	岩元 凜々 子, 佐久川 裕行, 宮城 拓也 他	皮膚科	多彩な皮膚症状を呈し、多剤免疫抑制剤による治療を要した再発性多発軟骨炎	西日本皮膚科 83:22-25, 2021 Feb.	Case report
60	小松 恒太 郎, 山口 さ やか, 内海 大介 他	皮膚科	一施設で半年間に経験したA群β溶連菌による壊死性軟部組織感染症の4例	西日本皮膚科 82:455-459, 2020 Dec.	Case report
61	小松 恒太 郎, 山口 さ やか, 内海 大介 他	皮膚科	優性栄養障害型表皮水疱症の患児での皮膚症状の経年変化	日本小児皮膚科学会雑誌 40 76-80, 2021 Jan.	Original Article
62	松尾 雄司, 内海 大介, 苅谷 嘉之 他	皮膚科	乳児に生じた多発皮膚筋線維腫の1例	日本小児皮膚科学会雑誌 40 71-75, 2021 Jan.	Case report

63	深井恭子、 高橋健造	皮膚科	昔ながらの外用薬 アズ ノール軟膏とゲーベンク リーム(コラム4) 外用薬 による接触皮膚炎	Visual Dermatology 19 1032-1034, 2020 Oct.	Original Article
64	大嶺卓也、 高橋健造	皮膚科	化膿性汗腺炎の治療の最 新情報を教えてください	皮膚科の臨床 62 860- 866, 2020 May.	Original Article
65	山口さや か、栗沢遼 子、高橋健 造	皮膚科	【ウイルス性疾患 最新 の話題】沖縄におけるカ ポジ肉腫とHHV-8	Derma 297 95-102 2020 Jun.	Original Article
66	Kinjo H, Agena S, Uezato J, et al.	耳鼻咽喉科	腎細胞癌の甲状腺転移例	頭頸部外科. 2020 Jun; 30: 67-72	Case report
67	Kinjo H, Agena S, Kinjo M, et al.	耳鼻咽喉科	頸部から縦隔に連なる巨大 成熟奇形腫の1例	日本気管食道科学会会 報. 2020 Aug; 71: 331- 337	Case report
68	Uezato J, Maeda H, Kinjo H, et al.	耳鼻咽喉科	肺癌患者における開胸肺葉 切除術と頸部操作による腺 腫様甲状腺腫摘出術の同 時施行例	頭頸部外科. 2020 Oct; 30: 233-238	Original Article
69	Yurika Y, Maeda H, Sugita S, et al.	耳鼻咽喉科	舌根部に発生した粘表皮癌 の1例	耳鼻と臨床. 2021 Mar; 67: 98-104	Case report
70	Kayo Y, Maeda H, Suzuki M.	耳鼻咽喉科	咽頭違和感を契機に発見さ れた頸動脈Dolichoectasia 症例	日本口腔・咽頭科学会雑 誌. 2021 Mar; 34: 97-101	Original Article
71	Maeda H, Sugita S, Kise N, et al.	耳鼻咽喉科	Availability of beaver-knife for intra-capsular enucleation of facial nerve schwannoma.	日本口腔・咽頭科学会雑 誌. 2021 Mar; 34: 103- 107	Original Article
72	Kondo S, Higa T, Akazawa Y, et al.	耳鼻咽喉科	Saito-Boxを用いた顔面神 経麻痺の評価(第2報)	Facial Nerve Research. 2021 Mar; 40: 121-123	Original Article
73	Kanemoto R, Yoza K, Higa T, et al.	耳鼻咽喉科	「きこえの支援セン ター」立ち上げへの思い	沖縄の小児保健. 2021 Mar; 48: 54-56	Review
74	Suzuki M.	耳鼻咽喉科	気道異物 その時どう対 応するか? 小児の気道異 物の取り扱い 耳鼻咽喉 科の立場から	小児耳鼻咽喉科. 2020 Apr; 41: 22-26	Review
75	Suzuki M.	耳鼻咽喉科	異物 初期対応から摘出 まで	日本耳鼻咽喉科学会会 報. 2020 Aug; 123: 754-761	Review

76	Koizumi H, Hasegawa T, Maruko I, et al.	眼科	滲出型加齢黄斑変性に対する多数回の抗血管内皮増殖因子薬治療を契機に発症した交感性眼炎の1例.	日本眼科学会雑誌 124:713-719, 2020 Sep.	Original Article
77	Terao N.	眼科	難渋症例にチャレンジ! 眼科診断トレーニング Torpedo maculopathy	眼科グラフィック 9:228-230, 2020 Apr.	Review
78	Sawaguchi S, Koizumi H.	眼科	再考!脈絡膜疾患診療 脈絡膜の構造と機能	Monthly Book OCULISTA 92:1-9, 2020 Nov.	Review
79	Chikaraishi Y.	眼科	緑内障セミナー 原発閉 塞隅角病 最近の話題	あたらしい眼科 38:327-328, 2021 Mar.	Review
80	近藤 毅	精神科神経科	初診時に精神病症状を呈 する20歳未満の患者の特 徴	児童青年精神医学とその 近接領域. 2020 Jun; 61: 215-220.	Original Article
81	平田 哲生	診療情報管理セン ター	糞線虫症	本質の寄生虫 臨床医のための寄生虫感 染症 2020年4月 125-130	Original Article
82	平安名常 一、牧野 航、草田武 朗、他	放射線科	骨転移に対する積極的緩 和治療	臨床放射線 65巻6号 529-541, 2020 Jun.	Original Article
84	古賀勇太, 野口信弘, 宜野座到,	麻酔科	Osler-Weber-Rendu 病 患者の大動脈弁置換術の 麻酔経験.	麻酔2020 Feb; 69: 177- 180. 2020.	Case report
85	宜野座到, 渡邊洋平, 和泉俊輔,	麻酔科	声門狭窄患 者に対して一期的に気管 切開術と冠動脈バイパス 術を行った麻酔経験.	Cardiovascular Anesthesia2020 Aug; 24:79-83,	Case report
86	Fujisawa S, Kuninaka K, Mkino W, et al	第一外科	集学的治療により切除し えた乳腺巨大葉状腫瘍の1 例	Ryukyu Med. J., 39 (1~ 4) : 49-58, 2020.	Case report
87	Takatsuki M	第一外科	生体肝移植ドナー手術 ドナーの安全とグラフト の質を両立させるための 工夫	消化器外科 43 (12) : 1619-1627, 2020 Nov	Others
88	Nakagawa Y, Ishino S, Kinjo T, et al	第一外科	妊娠出産後の腹直筋離開 に対して腹腔鏡下修復術 を行った1例	日鏡外会誌 26 (1) : 20- 24, 2021 Jun.	Case report
89	牧志祥子, 仲宗根 敏 幸, 又吉 亮, et al	歯科口腔外科	下顎歯肉に発生した悪性 末梢神経鞘腫瘍の1例	日本口腔外科学会雑誌 2021 Mar;67 (3) :194- 199.	Case report

90	後藤 新平, 加藤 大貴, 又吉 亮, et al	琉球大学病院 歯科 口腔外科	骨吸収抑制薬関連顎骨壊 死に起因した壊死性軟部 組織感染症の1例	日本化学療法学会雑誌 2020 Nov;68(6):619- 626.	Case report
91	片岡恵一	琉球大学病院 歯科 口腔外科	琉球大学病院歯科口腔外 科における埋伏歯に関す る臨床的検討	西日本小児口腔外科学会 雑誌 2020年12月	Original Article

計 91件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 手順書の主な内容 倫理審査委員会の役割・責務、意見の表示及び通知、迅速審査等に係る規程	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 1 1 回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 規定の主な内容 目的、利益相反マネジメント委員会の設置、利益相反アドバイザー・利益相反カウンセラーの設置、利益相反マネジメントの手続き、外部からの指摘への対応、秘密の保持等	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 1 回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 3 回
・ 研修の主な内容 臨床研究と社会、倫理審査委員会の視点から研究を考える。	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

本院の「病める人の立場に立った質の高い医療を提供するとともに、国際性豊かな医療人を育成する。」という理念のもとに、各診療科において専門的な分野の症例等に対する知識や技術、関連学会が定める専門医の資格取得に関する研修及び教育を実施している。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数 678.0 人

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
藤田 次郎	第一内科	教授	40 年	
益崎 裕章	第二内科	教授	29 年	
森島 聡子	第二内科	准教授	26 年	
土井 基嗣	第二内科	助教	13 年	
岩淵 成志	第三内科	教授代行	35 年	
石田 明夫	第三内科	准教授	28 年	
山里 正演	第三内科	講師	27 年	
崎間 洋邦	第三内科	講師	18 年	
池宮城 秀一	第三内科	助教	18 年	
當真 裕一郎	第三内科	助教	17 年	
高槻 光寿	第一外科	教授	26 年	
野村 寛徳	第一外科	助教	23 年	
金城 達也	第一外科	講師	21 年	
大野 慎一郎	第一外科	助教	17 年	
古川 浩二郎	第二外科	教授	33 年	
石内 勝吾	脳神経外科	教授	36 年	
西田 康太郎	整形外科	教授	29 年	
當銘 保則	整形外科	准教授	20 年	
東 千夏	整形外科	講師	22 年	
金城 政樹	整形外科	診療講師	24 年	
仲宗根 哲	整形外科	講師	22 年	
大久保 宏貴	整形外科	助教	20 年	
仲宗根 素子	整形外科	助教	19 年	
島袋 孝尚	整形外科	助教	19 年	
金城 英雄	整形外科	助教	21 年	
青木 陽一	産科婦人科	教授	37 年	
金城 忠嗣	産科婦人科	講師	21 年	
銘苅 桂子	産科婦人科	教授	22 年	
中西 浩一	小児科	教授	32 年	

高橋 健造	皮膚科	教授	35年
山口 さやか	皮膚科	講師	17年
宮城 拓也	皮膚科	助教	14年
林 健太郎	皮膚科	助教	14年
斉藤 誠一	腎泌尿器外科	教授	37年
鈴木 幹男	耳鼻咽喉科	教授	35年
古泉 英貴	眼科	教授	23年
山内 遵秀	眼科	診療講師	18年
新垣 淑邦	眼科	診療講師	22年
近藤 毅	精神科神経科	教授	38年
村山 貞之	放射線科	教授	42年
加留部 謙之輔	病理診断科	教授	20年
古波蔵 健太郎	血液浄化療法部	准教授	28年
久木田 一朗	救急科	教授	34年
垣花 学	麻酔科	教授	30年
神谷 武志	リハビリテーション科	講師	22年
中村 博幸	歯科口腔外科	教授	21年

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容 看護師特定行為研修：フィジカルアセスメント（皮膚科） リンパ節・皮膚の診察（実習・観察評価）・研修の期間・実施回数 1日 ・ 1回（2.5時間）・研修の参加人数 20人程度
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容 排尿自立支援に関する院内研修会（主に看護師向け）（腎泌尿器外科）・研修の期間・実施回数 年1回、1時間半程度（2020年10月9日実施）・研修の参加人数 30人程度
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容：口腔ケア（リンクナース研修会：看護師対象）（歯科口腔外科）・研修の期間・実施回数：令和2年7月～令和3年5月、講義10回・試験1回・研修の参加人数：14名
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容：放射線安全講習会：診療用放射線の安全利用に関する研修（放射線部）・研修の期間・実施回数：2021年4月1日～2022年3月31日 電子カルテ研修システムによる e-learning・研修の参加人数：1300人・研修の主な内容：放射線治療に関する幅広い知識の習得（放射線科）・研修の期間・実施回数：週1回、30分程度・研修の参加人数：看護師1～2人、診療放射線技師5～6人
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容 生命維持管理装置 医療機器 資料添付・研修の期間・実施回数 2020/4/1～2021/3/31 122回・研修の参加人数 2868名
資料別紙4-1参照

看護部研修について、別紙4-2参照

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

- ・研修の主な内容：医療機器の安全使用に関する研修（放射線部）
- ・研修の期間・実施回数：新人技師やそのモダリティを初めて担当する前にその都度実施
- ・研修の参加人数：新人技師と初めて担当する技師

- ・研修の主な内容：MRI造影剤副作用時対応シミュレーション（放射線部）
- ・研修の期間・実施回数：2020年12月3日（木）18:30～19:15・1回／年
- ・研修の参加人数：放射線科医師2人，診療放射線技師7人，看護師1人

- ・研修の主な内容：CT造影剤副作用時対応シミュレーション（放射線部）
- ・研修の期間・実施回数：2020年12月8日（火）17:15～19:00・1回／年
- ・研修の参加人数：診療放射線技師9人

・研修の主な内容 倫理、守秘義務、安全衛生、情報システム、業務力量評価、採血業務研修
(検査・輸血部)

- ・研修の期間・実施回数 9回/年
- ・研修の参加人数 30～34人

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

- ・研修の主な内容
- ・研修の期間・実施回数
- ・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

令和2年度 医療機器安全管理における研修計画と実績

別紙4-1

	機器分類	原理・取扱 保守点検・安全性 新規導入	研修・講習会内容	座学・実技	場所	対象	月日	時間	人数	講師	必須 任意
1	その他	取扱・安全性	新規採用職員オリエンテーション	座学	臨床講義棟2階 大講義室	新規採用職員	4月1日	8:00～17:15	183	西山 毅 (臨床工学会)	必須
2	放射線装置	原理・取扱 保守点検・安全性	CT検査装置取扱い	実技	CT検査室	診療放射線技師	4月1日	8:30～17:00	1	久高 亮 (診療放射線技師)	必須
3	その他	原理・取扱 保守点検・安全性	MRI 取扱い研修	実技	MRI検査室	診療放射線技師	4月1日	8:15～17:15	1	山内 昌敏 (診療放射線技師)	必須
4	人工呼吸器	原理・取扱・安全性 新規導入	人工呼吸器 savina300の取扱い①	実技	救急部	看護師	4月1日	13:00～13:30	6	迎里 陶一郎・福井 雅章 (臨床工学会)	必須
5	呼吸器・輸液ポンプ シリンジ・保育器 AED・医療ガス	原理・取扱	研修医向け ME機器講習会	座学	教育センター多目的室	研修医	4月2日	13:00～14:30	21	雨田 立論・福井 雅章 (臨床工学会)	必須
6	放射線装置	原理・取扱 保守点検・安全性	放射線治療装置CLINAC IXの 仕組み・取扱いについて	実技	高エネ第1治療室 治療計画CT室	放射線部 熊本大学期間研修生	4月2日	8:30～17:15	1	宮里 孝 (放射線部)	必須
7	放射線装置	原理・取扱 保守点検・安全性	CT検査装置取扱い	実技	CT検査室	診療放射線技師	4月3日	8:30～17:00	1	久高 亮 (診療放射線技師)	必須
8	その他	取扱・安全性	中央診療部門の役割と連携	座学・実技	シミュレーション 研修センター3階	新人看護師	4月3日	13:00～13:10	68	迎里 陶一郎 (臨床工学会)	必須
9	人工呼吸器	原理・取扱・安全性 新規導入	人工呼吸器 savina300の取扱い②	実技	救急部	看護師 新人看護師(部署移動)	4月7日	10:30～11:00	3	迎里 陶一郎 (臨床工学会)	必須
10	人工呼吸器	原理・取扱・安全性 新規導入	人工呼吸器 savina300の取扱い③	実技	救急部	看護師	4月8日	9:30～10:00	1	迎里 陶一郎 (臨床工学会)	必須
11	人工呼吸器	原理・取扱・安全性 新規導入	人工呼吸器 savina300の取扱い④	実技	10階東病棟	コロナ対策 看護師	4月10日	13:30～14:30	9	雨田 立論 (臨床工学会)	必須
12	人工呼吸器	原理・取扱 保守点検・安全性	部署移動者向け 人工呼吸器研修会	座学・実技	救急部	新人看護師 (部署移動)	4月13日	15:00～15:50	2	西山 毅 (臨床工学会)	必須
13	輸液ポンプ	原理・取扱	JMS輸液ポンプOT-818Gの取扱い	実技	化学療法室	看護師	4月15日	16:30～17:00	4	雨田 立論 (臨床工学会)	必須
14	放射線装置	原理・取扱	検査プロトコル変更に伴う研修 cannon aquilion precision	実技	CT検査室	診療放射線技師	4月15日	17:30～18:30	7	伊波 智子/知念彩乃 (診療放射線技師)	必須
15	放射線装置	原理・取扱	検査プロトコル変更に伴う研修 cannon aquilion ONE	実技	CT検査室	診療放射線技師	4月15日	17:30～18:30	7	伊波 智子/知念彩乃 (診療放射線技師)	必須
16	放射線装置	原理・取扱	検査プロトコル変更に伴う研修 GE Light Speed VCT	実技	CT検査室	診療放射線技師	4月15日	17:30～18:30	7	伊波 智子/知念彩乃 (診療放射線技師)	必須
17	人工呼吸器	取扱	加湿加温器回路への組み換え方	実技	ME機器センター	看護師	4月21日	16:00～16:30	2	雨田 立論 (臨床工学会)	必須
18	除細動器	原理・取扱・保守点検 安全性	除細動器の保守管理	実技	救急病棟	看護師 新人看護師(部署移動)	4月21日	14:30～15:30	12	迎里 陶一郎 (臨床工学会)	必須
19	輸液ポンプ シリンジポンプ	原理・取扱	輸液・シリンジポンプの 取扱いについて	実技	救急病棟	看護師	4月22日	11:10～11:50	5	雨田 立論 (臨床工学会)	必須
20	人工呼吸器	原理・取扱・安全性 新規導入	人工呼吸器 savina300の取扱い⑤	実技	救急部	新人看護師 (部署移動)	4月28日	10:30～11:30	1	西山 毅 (臨床工学会)	必須
21	人工呼吸器	原理・取扱・安全性 新規導入	人工呼吸器 savina300の取扱い⑥	実技	救急部	新人看護師	4月28日	10:30～11:30	2	西山 毅 (臨床工学会)	必須
22	人工呼吸器	原理・取扱	人工呼吸器 PB840・V60 勉強会	座学・実技	9階東病棟 ナースステーション	看護師	5月8日	15:30～16:30	6	迎里 陶一郎・福井 雅章 (臨床工学会)	必須
23	人工呼吸器	取扱	IPPV・NPPV・HFNCの 取扱いについて	実技	救急病棟	看護師	5月8日	14:30～15:30	12	雨田 立論 (臨床工学会)	必須
24	放射線装置	原理・取扱 保守点検・安全性	放射線治療計画用 X線CT装置取扱い	実技	高エネ第1治療室 治療計画CT室	診療放射線技師	5月8日	8:30～15:30	1	宮里 孝 (放射線部)	必須
25	放射線装置	原理・取扱 保守点検・安全性	CT検査装置取扱い	実技	CT検査室	診療放射線技師	5月11日	8:30～17:00	1	久高 亮 (診療放射線技師)	必須
26	放射線装置	原理・取扱 保守点検・安全性	放射線治療計画用 X線CT装置取扱い	実技	高エネ第1治療室 治療計画CT室	診療放射線技師	5月12日	8:30～15:30	1	宮里 孝 (放射線部)	必須
27	保育器・輸液 シリンジポンプ	原理・取扱	ME機器の取り扱い ～保育器と輸液・シリンジポンプ～	座学・実技	NICU	新人看護師	5月19日	11:00～12:00	2	雨田 立論 (臨床工学会)	必須
28	輸液セット	取扱・安全性	セーフアクセス 輸液セット勉強会	実技	救急病棟	看護師 新人看護師(部署移動)	5月19日	10:30～11:30	10	野原 珠理 (日本コヴィディエン株式会社)	必須
29	放射線装置	原理・取扱 保守点検・安全性	CT検査装置取扱い	実技	CT検査室	診療放射線技師	5月21日	8:30～17:00	1	久高 亮 (診療放射線技師)	必須
30	放射線装置	原理・取扱 保守点検・安全性	CT検査装置取扱い	実技	CT検査室	診療放射線技師	5月21日	8:30～17:00	1	久高 亮 (診療放射線技師)	必須
31	人工呼吸器 酸素療法	原理・取扱	ME機器の取り扱い ～SIPAPとネーザルハイフロー～	座学・実技	NICU・GCU	新人看護師	5月22日	11:00～12:00	2	雨田 立論 (臨床工学会)	必須
32	人工呼吸器	原理・取扱	PB840講習会	座学・実技	救急病棟	看護師	5月27日	14:00～15:30	1	福井 雅章 (臨床工学会)	必須
33	輸液 シリンジポンプ	原理・取扱・安全性	輸液・シリンジポンプの使い方	実技	1階西病棟	新人看護師	6月3日	15:30～16:10	3	福井 雅章・迎里 陶一郎 (臨床工学会)	必須
34	経皮血液 ガスモニタ	原理・取扱	経皮血液ガスモニタ①	座学・実技	ME機器センター	臨床工学技士	6月4日	13:00～14:00	4	島袋 (ラジオメータ)	必須

35	用手式換気装置	原理・取扱・安全性	用手式換気装置講習会	実技	救急病棟	看護師 新人看護師(部署移動)	6月9日	14:00~15:00	10	迎里 陶一郎 (臨床工芸室)	必須
36	人工呼吸器	原理・取扱	ME機器の取扱い ~人工呼吸器の役割と回路~	座学・実技	NICU	新人看護師	6月15日	11:00~11:40	3	雨田 立諭 (臨床工芸室)	必須
37	輸液 シリンジポンプ	原理・取扱・安全性	静脈注射基礎コース⑤ 輸液・シリンジポンプ①	座学・実技	5階看護部会議室	新人看護師	6月22日	11:00~11:30	6	西村 公彦 (臨床工芸室)	必須
38	輸液 シリンジポンプ	原理・取扱・安全性	静脈注射基礎コース⑥ 輸液・シリンジポンプ②	座学・実技	5階看護部会議室	新人看護師	6月22日	14:00~14:30	11	西村 公彦 (臨床工芸室)	必須
39	輸液 シリンジポンプ	原理・取扱・安全性	静脈注射基礎コース⑥ 輸液・シリンジポンプ③	座学・実技	5階看護部会議室	新人看護師	6月23日	14:00~14:30	9	西村 公彦 (臨床工芸室)	必須
40	輸液 シリンジポンプ	原理・取扱・安全性	静脈注射基礎コース⑥ 輸液・シリンジポンプ④	座学・実技	5階看護部会議室	新人看護師	6月24日	11:00~11:30	4	西村 公彦 (臨床工芸室)	必須
41	輸液 シリンジポンプ	原理・取扱・安全性	静脈注射基礎コース⑥ 輸液・シリンジポンプ⑤	座学・実技	5階看護部会議室	新人看護師	6月24日	14:00~14:30	8	西村 公彦 (臨床工芸室)	必須
42	その他	取扱・安全性	看護助手向け講習会 「ME機器の取扱い」	座学	5階看護部会議室	看護助手	6月24日	14:00~15:00	48	福井 雅章 (臨床工芸室)	必須
43	経皮血液 ガスモニタ	原理・取扱	経皮血液ガスモニタ②	座学・実技	NICU	看護師	6月25日	11:15~11:45	9	雨田 立諭 (臨床工芸室)	必須
44	輸液 シリンジポンプ	原理・取扱・安全性	静脈注射基礎コース⑥ 輸液・シリンジポンプ⑥	座学・実技	5階看護部会議室	新人看護師	6月25日	11:00~11:30	9	西村 公彦 (臨床工芸室)	必須
45	輸液 シリンジポンプ	原理・取扱・安全性	静脈注射基礎コース⑦ 輸液・シリンジポンプ⑦	座学・実技	5階看護部会議室	新人看護師	6月25日	14:00~14:30	8	西村 公彦 (臨床工芸室)	必須
46	輸液 シリンジポンプ	原理・取扱・安全性	静脈注射基礎コース⑥ 輸液・シリンジポンプ⑧	座学・実技	5階看護部会議室	新人看護師	6月26日	11:00~11:30	10	西村 公彦 (臨床工芸室)	必須
47	経皮血液 ガスモニタ	原理・取扱	経皮血液ガスモニタ③	座学・実技	NICU	医師・看護師	6月26日	11:00~11:30	11	雨田 立諭 (臨床工芸室)	必須
48	輸液 シリンジポンプ	原理・取扱・安全性	静脈注射基礎コース⑥ 輸液・シリンジポンプ⑨	座学・実技	5階看護部会議室	新人看護師	6月26日	11:00~11:30	10	西村 公彦 (臨床工芸室)	必須
49	その他	安全性	第1回 医療安全職員研修 兼 医師・看護師(中途・復職)研修	座学	臨床講義棟2階 大講義室 Web受講	全職員 (中途・復職者含む)	6月26日	17:00~18:00	80	西村 公彦 (臨床工芸室)	必須
							—	—	1549	—	必須
50	その他	原理・取扱 保守点検・安全性	1.5T MRI装置 SIEMENS AVANTO	実技	MIR検査室	放射線技師	7月1日	8:15~17:15	1	山内 昌敏 (診療放射線技師)	必須
51	経皮血液 ガスモニタ	原理・取扱	経皮血液ガスモニタ④	座学・実技	NICU・GCU	看護師	7月1日	11:00~11:30	12	雨田 立諭 (臨床工芸室)	必須
52	放射線装置	原理・取扱 保守点検・安全性	CT検査装置取扱い	実技	CT検査室	診療放射線技師	7月3日	8:30~17:00	2	久高 亮 (診療放射線技師)	必須
53	補助循環装置	原理・取扱	ECMO 基礎と管理のポイント	座学	NICU	看護師 新人看護師	7月7日	11:00~11:30	10	東舟道 志乃 (臨床工芸室)	必須
54	人工呼吸器	取扱	人工呼吸器Carina~取扱い方法~	実技	10階東病棟	看護師	7月10日	14:10~14:20	15	雨田 立諭 (臨床工芸室)	必須
55	人工呼吸器	取扱	在宅人工呼吸器 Purita bennett560	実技	救急病棟	看護師	7月14日	14:30~14:45	10	雨田 立諭 (臨床工芸室)	必須
56	在宅人工呼吸器	原理・取扱・新規導入	トリロジー100plus	座学	6階西病棟	医師・看護師	7月14日	14:30~15:00	9	大城 仁昭 (南西医療器株式会社)	必須
57	その他	原理・取扱・安全性	ME機器研修会	座学・実技	ME機器センター	新人臨床工学技士	7月18日	09:00~12:00	4	南西医療器株式会社	必須
58	補助循環装置	原理・取扱・安全性	ECMO~基礎と管理のポイント	座学	NICU	看護師	7月21日	11:00~11:30	5	東舟道 志乃 (臨床工芸室)	必須
59	血液浄化装置	原理	透析の原理	座学	血液浄化部	看護師	7月21日	15:00~15:30	2	金城 哲史 (臨床工芸室)	必須
60	輸液 シリンジポンプ	原理・取扱・安全性	MRI対応輸液・シリンジポンプ	座学・実技	ME機器センター	臨床工学技士	7月28日	16:00~16:30	5	杏林システマック	必須
61	持続緩徐式 血液浄化装置	原理・取扱・安全性	血液浄化入門	座学	集中治療部 カンファレンス室	新人看護師	8月6日	16:00~17:00	4	平山千佳 (臨床工芸室)	必須
62	加温加湿器	取扱・安全性 新規導入	加温加湿器VHB200取扱説明	実技	集中治療部	医師・看護師 臨床工学技士	8月19日	9:00~9:15 14:00~14:15 14:15~14:30	9	金城 雅史・照屋 保 (オキナワメディカルサポート 株)	必須
63	加温加湿器	取扱・安全性 新規導入	加温加湿器VHB200取扱説明	実技	集中治療部	看護師	8月20日	9:00~9:15 14:00~14:15 14:15~14:30	9	金城 雅史・照屋 保 (オキナワメディカルサポート 株)	必須
64	人工呼吸器	原理・取扱・安全性	ポンベの計算 呼吸器の乗せ換え方法	座学・実技	救急病棟	看護師	8月20日	15:00~16:00	7	迎里 陶一郎・福井 雅章 (臨床工芸室)	必須
65	加温加湿器	取扱・安全性 新規導入	加温加湿器VHB200取扱説明	実技	集中治療部	看護師 臨床工学技士	8月21日	9:00~9:15 14:00~14:15 14:15~14:30	11	金城 雅史・照屋 保 (オキナワメディカルサポート 株)	必須
66	人工呼吸器	取扱	人工呼吸器の 「吸気圧」と「PEEP」の関係	座学	救急病棟	看護師	8月21日	16:00~17:00	5	雨田 立諭・福井 雅章 (臨床工芸室)	必須
67	人工呼吸器	原理・取扱	搬送用呼吸器勉強会	座学・実技	8階東病棟	看護師	8月25日	14:00~14:30	6	福井 雅章 (臨床工芸室)	必須
68	人工呼吸器 除細動器	原理・取扱	除細動・NPPV確認テスト	座学	令和2年度入職者	看護師	8月1日~8月15日		72	福井 雅章 (臨床工芸室)	必須
69	人工呼吸器 ネーザルハイロー	原理・取扱	NHF・IPPV確認テスト	座学	令和2年度入職者	看護師	8月16日~8月31日		72	福井 雅章 (臨床工芸室)	必須

70	人工呼吸器	原理・取扱・保守点検 安全性・新規導入	人工呼吸器 HAMILTON-C6 ①	座学・実技	集中治療部器材庫	医師 臨床工学技士	9月14日	16:30~16:30	6	西島 正樹 (日本光電)	必須
71	人工呼吸器	原理・取扱・保守点検 安全性・新規導入	人工呼吸器 HAMILTON-C6 ②	座学・実技	集中治療部器材庫	医師 臨床工学技士	9月15日~9月24日 9:30~10:00 14:00~14:30		23	伊波 行斗 (日本光電)	必須
72	人工呼吸器	原理・取扱	PB840講習会	座学・実技	7階西病棟 ナースステーション	看護師	9月24日	16:00~17:30	9	福井 雅章 (臨床工学会)	必須
73	電気メス	原理・取扱	電気メス	座学・実技	手術部 9 room	看護師	9月28日	16:00~16:45	4	具志堅 興治 安富 翔 (臨床工学会)	必須
74	その他	原理・取扱・保守点検 安全性	MRI室火災時対応 マニュアル確認	実技	MRI室	診療放射線技師	10月2日	18:00:00~18:30	7	呉屋 克典	必須
75	人工心臓装置	原理・安全	PCPS勉強会①	座学・実技	集中治療部 カンファレンス室	看護師 新人看護師(部署移動)	10月14日	17:00~18:00	3	兼城 悠司 (臨床工学会)	必須
76	人工心臓装置	原理・安全	PCPS勉強会②	座学・実技	集中治療部 カンファレンス室	看護師 新人看護師(部署移動)	10月15日	10:00~11:00	4	兼城 悠司 (臨床工学会)	必須
77	除細動器 AED	原理・取扱・安全性	除細動器とAEDの 取扱いについて	座学・実技	10階東病棟	看護師	10月15日	14:30~15:20	7	雨田 立論 (臨床工学会)	必須
78	除細動器 AED	原理・取扱・安全性	除細動器とAEDの 取扱いについて	座学・実技	10階東病棟	看護師	10月19日	14:00~14:40	6	雨田 立論 (臨床工学会)	必須
79	その他	原理・取扱・保守点検 安全性	影像条件のパラメータ 設定について	実技	MRI1Room	診療放射線技師	10月19日	18:00:00~20:00	5	真鍋 章大 (シーメンスヘルスケア株式会社)	必須
80	その他	原理・取扱・保守点検 安全性	シーケンスパラメータ調整・作成	実技	MRI3Room	診療放射線技師	10月19日	19:00~22:00	6	濱野 裕 (フィリップス)	必須
81	人工呼吸器	原理・取扱・保守点検 安全性・新規導入	人工呼吸器 HAMILTON-C6 ③	座学・実技	10階東病棟 ナースステーション	医師・研修医・看護師 臨床工学技士	10月23日	16:00~16:45	13	崎村 (日本光電)	必須
82	AED	原理・取扱	BLSレクチャー	座学・実技	10階東病棟	看護師	10月27日	9:00~10:00	4	徳嶺 寿江(特定看護師) 西村 公彦(臨床工学会)	必須
83	人工呼吸器	原理	人工呼吸器のモード	座学・実技	血液浄化部	看護師	11月6日	16:00~16:30	8	上間 貴志 (臨床工学会)	必須
84	ECMO	取扱・新規導入	CARDIOHELP勉強会 ①	実技	カテ室	臨床工学技士	11月6日	16:00~17:00	4	GETINGE	必須
85	その他	原理・取扱・保守点検 安全性	MRIの危機管理 検査中に巨大地震が起きたら	座学	MRI検査室	診療放射線技師	11月19日	18:30~20:30	6	土井 司 平野 幸司 土橋 俊男 平出 博一	必須
86	その他	安全性	MRI造影剤副作用時 シミュレーション	実技	MRI検査室1Room	看護師 診療放射線技師	12月3日	18:30~19:15	15		必須
87	ECMO	取扱・新規導入	CARDIOHELP勉強会 ②	座学	2外科医局	医師・臨床工学技士	12月4日	16:00~17:00	9	GETINGE	必須
88	その他	原理	人工呼吸患者の 血ガストレーニング	座学	ME機器センター	臨床工学技士	12月8日	8:30~9:00	4	西山 毅 (臨床工学会)	必須
89	その他	安全性	造影CT副作用シミュレーション	座学	CT検査室	放射線技士	12月8日	17:15~19:00	9	久高 亮 (診療放射線技師)	必須
90	シリンジポンプ	原理・取扱・安全性	シリンジポンプの サイフォニング現象について	座学・実技	救急病棟	看護師	12月14日	14:30~15:30	6	副島 慎太郎 (TERUMO) 福井雅章(臨床工学会)	必須
91	体温調節装置	原理・取扱	低体温療法・概要と デバイスについて	座学	ME機器センター	臨床工学技士	12月15日	8:20~8:35	4	雨田 立論 (臨床工学会)	必須
92	加温加湿器 (人工呼吸器)	原理・取扱	加温加湿器VHB200勉強会	座学	ME機器センター	臨床工学会	12月17日	10:30~11:00	4	中村 卓生 (コワイディエン株式会社)	必須
93	人工呼吸器	原理・取扱・安全性	人工呼吸器とネーザルハイフローの取 扱いについて~Zavina300 & Maxventuri	座学・実技	10階東病棟	看護師	12月17日	14:00~15:00	9	雨田 立論・福井 雅章 (臨床工学会)	必須
94	血液浄化装置	原理・取扱	NMOに対するIAPPIについて	座学	ME機器センター	臨床工学技士	12月22日	8:20~8:30	4	迎里 陶一郎 (臨床工学会)	必須
95	人工心臓装置	安全性	人工心臓症例での トラブルシューティング	座学	手術室 71ルーム	医師・看護師 臨床工学技士	12月22日	18:00~19:00	30	東舟道 志乃・兼城 悠司 (臨床工学会)	必須
96	その他	取扱・安全性	看護助手向け講習会 「ME機器の取り扱い」	座学	5階看護部会議室	看護助手	12月25日	16:00~17:00	17	福井 雅章 (臨床工学会)	必須
97	人工呼吸器	原理	APRVについて	座学	ME機器センター	臨床工学技士	1月26日	8:30~9:00	4	西山 毅 (臨床工学会)	必須
98	人工呼吸器	取扱・安全性	加温加湿器の取扱いについて	座学・実技	8階東病棟 カンファレンス室	看護師	1月27日	15:00~15:30	11	福井 雅章 (臨床工学会)	必須
99	人工呼吸器	原理	人工呼吸器患者の異常波形	座学	ME機器センター	臨床工学技士	2月2日	8:30~9:00	3	西山 毅 (臨床工学会)	必須
100	血液浄化装置	原理	血漿交換(PE)について①	座学	救急病棟	看護師	2月2日	13:30~14:00	9	上間 貴志 (臨床工学会)	必須
101	血液浄化装置	原理	血漿交換(PE)について②	座学	救急病棟	看護師	2月2日	13:30~14:00	5	上間 貴志 (臨床工学会)	必須
102	血液浄化装置	原理	血漿交換(PE)について③	座学	救急病棟	看護師	2月2日	14:30~14:45	5	上間 貴志 (臨床工学会)	必須
103	呼吸器生理	原理	呼吸商・呼吸生理から 栄養療法まで	座学	ME機器センター	臨床工学技士	2月9日	8:20~8:30	5	雨田 立論 (臨床工学会)	必須
104	透析装置	新規導入	TR-2020透析装置の 取扱いについて	実技	集中治療部	看護師	1月18日 ~2月12 日	9:30~10:00	36	徳元大悟(TMO沖縄販売株式会社) 又吉 慶人(臨床工学会)	必須

105	血液浄化装置	原理	アフレスシスについて①	座学	血液浄化療法部	看護師・臨床工学技士	2月12日	15:45~16:15	8	上間 貴志 (臨床工学会)	必須
106	保育器・輸液 シリンジポンプ	原理・取扱・安全性	NICU新人看護師向け勉強会ME機器の取 扱い~保育器と輸液・シリンジポンプ~	座学	NICU	新人看護師 (部署移動)	2月15日	11:00~11:30	2	雨田 立論 (臨床工学会)	必須
107	モニタリング関連	原理・取扱・安全性	フロートトラックセンサについて	座学	ME機器センター	臨床工学技士	2月16日	8:30~9:00	4	迎里 陶一郎 (臨床工学会)	必須
108	血液浄化装置	原理	アフレスシスについて②	座学	血液浄化療法部	医師・看護師	2月18日	14:45~15:15	3	上間 貴志 (臨床工学会)	必須
109	除細動器	原理・取扱・安全性	除細動器勉強会	実技	10階東病棟	看護師	2月25日	9:30~9:45	6	西村 公彦 (臨床工学会)	必須
110	除細動器	取扱・安全性	除細動器による 体表ペースティング	座学・実技	11階東病棟	医師・看護師	2月28日	16:30~17:00	9	伊波 行斗 (日本光電) 福井雅章 (臨床工学会)	必須
111	人工呼吸器	取扱・新規導入	人工呼吸器HAMILTON-C1 取扱操作	実技	ICU器材室	医師・臨床工学技士	3月2日	12:00~12:15	6	伊波 行斗 (日本光電)	必須
112	人工呼吸器	原理・新規導入	V600 勉強会	座学	集中治療部 カンファレンス室	医師・研修医 臨床工学技士・学生	3月10日	17:30~18:10	21	大嶋 修一郎 (ドレゲル・メディカルジャパン)	必須
113	保育器	原理・取扱	ATOM保育器デュアル インキュ・インキュ ~体重測定について~ ①	座学	NICU	看護師	3月11日	11:15~11:35	6	雨田 立論 (臨床工学会)	必須
114	保育器	原理・取扱	ATOM保育器デュアル インキュ・インキュ ~体重測定について~ ②	座学	NICU	看護師	3月12日	11:00~11:30	5	迎里 陶一郎 (臨床工学会)	必須
115	補助循環装置	原理	IABP 勉強会	座学	救急病棟	看護師	3月12日	16:30~17:00	6	豊川 善朗 (臨床工学会)	必須
116	生体情報 モニタ	取扱・新規導入	MASIMO Root With Sedlineの 勉強会	取扱	集中治療部器材室	看護師 臨床工学技士	3月17日 3月18日	9:30~10:30	15	増崎 広大 (マシモジャパン株式会社)	必須
117	人工呼吸器	原理・取扱・安全性	人工呼吸器ハミングX ベビーログ・SIPAPの取扱い	実技	NICU	新人看護師 (中途復職)	3月18日	11:20~12:20	2	雨田 立論 (臨床工学会)	必須
118	輸液ライン	原理・取扱・安全性	COVIDIEN 輸液ライン内フィルターの 取扱いと報告①	座学	救急病棟	看護師	3月22日	14:40~15:20	4	野原 珠理 (コヴィデンジャパン株式会社)	必須
119	人工呼吸器	原理・取扱・新規導入	人工呼吸器 ハミングビュー 新規導入勉強会	座学	ME機器センター	医師・臨床工学技士	3月23日	10:00~11:00	6	(株)トラン	必須
120	血液浄化装置	原理・取扱・保守点検 安全性・新規導入	TR-2020透析装置の 取扱いについて	座学・実技	血液浄化療法部	臨床工学技士	3月24日	15:30~16:30	5	徳元 大悟 (東レ・メディカル株式会社)	必須
121	輸液ライン	原理・取扱・安全性	COVIDIEN 輸液ライン内フィルターの 取扱いと報告②	座学	救急病棟	看護師	3月29日	14:30~15:00	5	野原 珠理 (コヴィデンジャパン株式会社)	必須
122	放射線装置	原理・取扱 保守点検・安全性	Redixact フォローアップ トレーニング(Webにて)	座学	放射線スタッフ室	診療放射線技師	3月29日	19:00~21:15	7	小林 冬水・横瀬 純一 (日本アキュレイ株式会社)	必須
								受講者合計	2868		

令和2年度 看護部院内研修実施内容一覧

(1) クリニカル・ラダーレベルⅠ 対象

研修名	研修内容	研修実施日 (時間)	受講者数 (人)
新規採用者 オリエンテーション	1. 病院の理念と基本方針 2. 医療安全の基本 当院の医療に係る安全管理のための指針 3. 医療機器安全管理 4. 感染対策の基本 5. 医療品安全管理の基本 6. 医療倫理～立ち止まる倫理のススメ～ 7. ハラスメント相談室利用について 8. 損害保険について 9. 諸手続き(勤務時間・休暇等給与支給・諸手当・社会保険等、学部内)	4月1日 (8時間)	72
新規採用者 オリエンテーション	1. 社会人としての心構え 2. 看護部組織の一員及び専門職としての心構えと役割 ・病院、看護部の組織について ・看護部の理念と基本方針について 3. チーム医療の一員としての役割や連携について 関連部署訪問	4月2日 (1.5時間)	72
看護部運営方針	令和2年度看護部長方針について	4月3日 (1時間)	72
看護部新規採用者 オリエンテーション	・院内教育計画について ・新人看護師育成プログラム・クリニカルラダー・新人教育サポーター制度について	4月3日 (2時間)	72
看護部新規採用者 オリエンテーション	・看護記録基準と看護記録について	4月6日 (1時間)	72
感染管理 標準予防策	・標準予防策 ・手指衛生と個人防護具着脱 ・経路別予防策 ・院内感染対策で重要な耐性菌とウィルスの感染経路について ・針刺し防止策について	4月8日 (2時間)	72
看護部新規採用者 オリエンテーション	・PNS看護体制について ・服装基準と身だしなみマナー	4月2日 (1.5時間)	72
看護部新規採用者 オリエンテーション	・看護協会について ・看護協会の使命 ・活動内容 ・入金案内	4月3日 (0.5時間)	72
看護部新規採用者 オリエンテーション	・勤務管理について ・労務管理について ・人事管理における個人情報入力方法について ・看護師免許登録と取扱いについて	4月2日 (2時間)	72
看護の安全	・リスクマネジメントについて ・5Rの確認、インシデントの対応について	4月9日 (3.5時間)	72
看護部新規採用者 オリエンテーション	・情報管理セキュリティについて	4月7日 (1時間)	72
インスリンの基礎知識	・インスリンの種類、作用、副作用、器材などの知識と情報 ・インスリンに関するインシデント事例と対策	5月1日～ 7月3日 (1時間)	75
接遇Ⅰ・コミュニケーションスキル	・社会人として身に付けておくべき基本的なマナー	4月6日 (3.5時間)	72
基礎看護技術 移乗・移動・移送介助 食事介助 経管栄養注入 口腔ケア	部署OJTにて実施 基礎看護技術の目的に応じた必要物品の準備、手順、手技、留意点(リスク防止や安楽にするためのポイント)、観察のポイント、片づけについて、	4月9日～ 4月30日 (1時間)	72
基礎看護技術 酸素療法 気管内吸引	部署OJTにて実施 酸素療法及び気管内吸引の目的に応じた必要物品の準備、手順、手技、留意点、観察のポイント、片づけ	6月3日～ 6月30日 (1時間)	70
BLS	成人の心配蘇生法(胸骨圧迫・人工呼吸)、AEDの使用方法を想定した演習	6月12日 (100分)	75

基礎看護技術 エンゼルケア	・エンゼルケアの意義と実際(エンゼルメイク、シャワー、更衣、 家族への配慮)	9月17日 (1時間)	72
新人6か月フォローアップ研修	・乗り越えられた事、現状の悩み、自己の成長について、乗り越えるための戦略について	9月11日 (1.5時間)	71
新採用者ナラティブ発表会	ナラティブレポートを通してお互いの経験を共有し、看護の気づきを深める	12月25日 (2時間)	68
フィジカルアセスメント (基本編)	フィジカルアセスメントの基本的な観察 ・フィジカルアセスメントの目的 ・基本手技(問診、視診、触診、打診、聴診)、胸部(肺)、腹部、 グループワーク演習	7月3日 (7時間)	74
深部静脈血栓症の予防 (基礎編)	・深部静脈血栓症について ・予防のためのケア(弾性ストッキングの方法)	7月22日 (45分)	75
消火器・消火栓の取扱い	・火災発生時の初期対応ができる ・消火器の取扱い(消火器・消火栓)	7月7日 (45分) 7月21日 (45分) 8月6日 (45分)	43 29 14

(2) クリニカル・ラダーレベルⅡ 対象

研修名	研修内容	研修 実施日 (時間)	受講者 数(人)
気管内挿管介助	・必要物品と使い方 ・救急カートの内容と使用目的 ・シミュレーターを使って気管内挿管介助演習	7月10日 (7時間)	52
リーダー育成研修(基礎編)	・リーダーの役割、リーダーシップとは何か ・役割を発揮するうえで必要な事とは何か ・リーダーとリーダーシップの違い	6月26日 (1時間)	69
アサーティブコミュニケーション	・アサーティブとは ・自己のコミュニケーションのタイプ ・アサーティブな自己表現	11月6日 (0.5時間)	48
救急看護	・救命処置の実技 ・リーダーシップについて ・事例を想定した救急への対応	11月27日 (1.5時間)	34
接遇Ⅱ	医療接遇とは 接遇に関する課題の共有	8月28日 (2時間)	34
慢性疾患患者の自己管理能力を高めるための支援	・慢性疾患患者の在宅療養移行支援をする上で必要な知識、技術 ・慢性疾患患者の看護	12月17日 (1時間)	41
深部静脈血栓症の予防 (応用編)	血栓の発生機序とハイリスクの判断基準、予防方法	7月17日 (1時間)	72
メンタルヘルス	・職場の人間関係 ・対応困難場面に対する適切な対応方法 ・ワークストレスの予防と対策 ・コミュニケーションスキル	7月29日 (1時間)	55
フィジカルアセスメント ①②	・フィジカルアセスメントの目的 一般状態、基本手技:問診、視診、触診、打診、聴診	10月8日 (1.5時間) 12月18日 (1.5時間)	39 39
手術室における挿管介助 見学実習	・必要物品の確認 ・気管内挿管介助の実際(声かけ、医師との連携・タイミングの 取り方等)	5月29日～ 7月3日 (4時間)	63
材料部実習	・医療材料の再生処理・滅菌・供給システムの実際	12月1日～ 1月29日 (2時間)	67
保全防災①②	①避難誘導訓練 (院内防災について、発生時の初期対応) ②総合消防訓練	9月18日 (2時間) 10月7日～ 9月18日 (2時間)	89 39

(3) クリニカル・リーダーレベルⅢ・Ⅳ 対象

研修名	研修内容	研修 実施日 (時間)	受講者 数(人)
看護管理概論	・看護管理とは ・管理者に求められる能力について	6月11日 (1時間)	34
看護診断事例検討会	・事例発表予定の患者の看護診断について、エキスパートナースも含め検討する	1月26日 (8時間)	26
リーダー育成研修(実践編)①	・リーダーの役割 ・リーダーに求められる人間的資質 ・リーダーシップのタイプについて	10月6日 (1.5時間)	27
リーダー育成研修(実践編)②	・実践し通して、自己のリーダーシップの振り返り	2月3日 (1.5時間)	23
論理的な文章の書き方	・論理的な文章の書き方 ・論文や事例レポートのまとめ方	8月5日 (2時間)	17
重症患者ケア① 呼吸管理	・クリティカルな状況での呼吸管理 ・体位ドレナージ、口腔ケアの意義 ・合併症予防	9月24日 (1時間)	24
重症患者ケア② 循環管理	クリティカルな状況での代謝、栄養管理も含めた循環管理について	11月13日 (1時間)	20
アドボカシーを育む	倫理問題に対する対応 臨床現場での倫理的問題、事例検討	12月23日 (1.5時間)	32
災害訓練	災害を想定した実地訓練	12/10 (3時間)	53
ナラティブ・ベイスト・ナーシング	・看護職員にとってのナラティブとは ・患者にとってのナラティブとは	1月27日 (1.5時間)	26
看護サービス管理	・看護サービスについて ・看護の質評価(構造・プロセス・アウトカム)について ・人材育成について、	12月2日 (1.5時間)	18

(4) 全看護職員 対象

研修名	研修内容	研修 実施日 (時間)	受講者 数(人)
高齢者の看護 (施設基準の要件)	高齢者の特徴的な疾病・症候、予防・治療について、 高齢者を包括的に診る視点、症状の観察、判断の要点について	11月17日 (1時間)	23
認知症患者の看護 (施設基準の要件)	・認知症の病態・診断・予防～治療について ・認知症を有する人の対応やコミュニケーション方法、中核症状、せん妄を呈する認知症高齢者のアセスメントの要点と援助方法について	12月8日 (1時間)	30
臨床倫理検討会		6月24日 (1時間)	38
倫理研修①	多職種による事例カンファレンス	10月1日 (1時間)	38
倫理研修②	多職種による事例カンファレンス	10月8日 (1時間)	44
倫理研修③	多職種による事例カンファレンス	10月15日 (1時間)	33
医療倫理	・医療倫理とは、看護職と倫理、倫理原則	11月26日 (1.5時間)	56
看護研究①	・文献検索方法を学び、研究テーマの背景を明確にする ・文献検索方法	6月9日 (1.5時間)	13
看護研究②	・看護研究のテーマ絞込 ・文献検索の方法	8月6日 (1.5時間)	12
看護研究③	・研究計画書の査読	1月14日 (1.5時間)	36
看護診断(初級)	・看護過程について ・看護診断の意味、意義、活用について	9月12日 (7時間) 1月23日 (7時間)	116 40

看護診断（中級編）	アセスメントから看護診断、理論背景や用語・概念の理解(自己概念・役割関係・ストレスコーピング・スピリチュアリティ、その他)	10月10日 (7時間)	89
		2月6日 (7時間)	81
看護診断（上級編）	看護診断に役立つ知識・技術、看護診断指導のポイント、看護診断の開発・検証・研究	2月27日 (7時間)	101
		3月13日 (7時間)	83

(5) 院内認定研修（静脈注射教育プログラム 平成26年度改訂版）

研修名	研修内容	研修実施日 (時間)	受講者数(人)
静脈注射基礎コース①	治療方針の理解、安全(誤薬予防)に実施するための与薬の原則(5Rの徹底)	6月19日 (0.5時間)	77
静脈注射基礎コース②	清潔操作、安全機材の取扱い、針廃棄について	6月19日 (40分)	77
静脈注射基礎コース③	看護師が行う静脈注射実施範囲、静脈注射の法的位置づけと看護師の責務、静脈注射の用語の説明	6月19日 (10分)	77
静脈注射基礎コース④	・静脈注射を安全に実践するための解剖と生理 ・静脈注射の合併症とその対策	6月19日 (40分)	77
静脈注射基礎コース⑤	・静脈注射を安全に実施するための薬剤知識(作用、副作用、投与方法、使用量と薬剤単位) ・薬剤の種類と取り扱い(ワンショット禁止薬剤、類似名称、形態)薬剤の保管・管理	6月19日 (40分)	77
静脈注射基礎コース⑥	・輸液ポンプ、シリンジポンプの特徴と使い分け ・輸液ポンプ、シリンジポンプの使用方法和アラームの対処、使用後の後片付け	6月22日～ 30日 (0.5時間)	78
静脈注射実践指導者コース①	・適切な静脈栄養管理、静脈栄養の輸液の種類、検査データの読み方 ・麻薬の管理(受け取りから実施、返却まで)	10月18日～ 11月11日 (1.5時間)	54
静脈注射実践指導者コース②	緊急輸血、生物学的製剤の取り扱い	10月18日～ 11月11日 (0.5時間)	54
静脈注射実践指導者コース③	有害事象の予防と対策(手足症候群)	10月18日～ 11月11日 (50分)	54
静脈注射実践指導者コース④	循環作動薬、ショックバイタル時の輸液管理及びハイリスク薬剤について	10月18日～ 11月11日 (1時間)	54
静脈注射実践指導者コース⑤	末梢・CVライン・PICC刺入部管理について	10月18日～ 11月11日 (0.5時間)	54
静脈注射実践指導者コース⑥	血液培養採血の方法	10月18日～ 11月11日 (1時間)	54
静脈注射実践指導者コース⑦	CVポートの管理(穿刺・抜針の演習)	12月1日～ 12月7日 (0.5時間)	54
静脈注射管理者コース①	・看護管理とは ・マネジメントの基本、PDCAサイクル、管理者に求められる能力について ・問題解決技法の活用方法、自己の取り組む課題について	6月9日 (1.5時間)	24
静脈注射管理者コース②	・問題解決技法用い、部署の課題の明確化、 ・課題解決に向けた具体策の検討、個別フィードバック	8月6日 (1.5時間)	18
静脈注射管理者コース③	課題解決に向けて、PDCAサイクルを実践した中間報告	10月21日 (2時間)	29
静脈注射管理者コース④	課題解決に向けて取り組んだ看護管理の実践報告	2月12日 (1.5時間)	33

(6) 皮膚・排泄ケアスキルアップ研修

研修名	研修内容	研修実施日(時間)	受講者数(人)
スキンケア①②	スキンケアの基礎知識 ②については、WOCにて各部署で研修会開催	4月7日 (1時間)	72
		4月24日～ 5月28日 (1時間)	72
創傷・褥瘡ケア①②③	・ポジショニングについて ・褥瘡ケアと治癒過程 ・スキンケア・医療機器関連圧迫創について	6月15日 (1時間)	31
		7月20日 (1時間)	12
		9月28日 (1時間)	15
ストマケア①②	①サイトマーキングについて ②ストマケアの基礎	10月19日 (1時間)	13
		1月18日 (1時間)	17
排尿自立ケア	排尿自立ケアの基礎知識	10月9日 (1時間)	35
		12月21日 (1時間)	15

(7) 感染対策スキルアップ研修(院内認定)

研修名	研修内容	研修実施日(時間)	受講者数(人)
看護ケアと感染防止 (尿路感染、血流感染、人工呼吸器関連肺炎、手術部位感染)	尿路感染、血流感染、人工呼吸器関連肺炎、手術部位感染の感染経路と感染防止対策についての演習	7月13日 (1時間)	21
リーダーのための感染対策の基本(ベッドコントロール、標準予防策、経路別予防策、針刺し時の対応等)	感染管理に必要なベッドコントロール、標準予防策・経路別予防策の実践について、針刺し時の対応について、	10月12日 (1時間)	15
指導者のための標準予防策と経路別予防策	標準予防策と経路別予防策の基本と違い、予防策ができていないことのリスクと対策について 個人防護具の選択と着脱方法、手指衛生の演習	12月14日 (1時間)	16

(8) がん看護スキルアップ研修(院内認定)

研修名	研修内容	研修実施日(時間)	受講者数(人)
リンパ浮腫マッサージ	1.リンパ浮腫、静脈性浮腫の病態 2.手術後リンパ浮腫予防指導方法 3.複合的リンパ浮腫治療 4.リンパドレナージと圧迫療法(実技)	6月1日 (1時間)	16
がん患者の精神的苦痛への看護	1.精神症状のアセスメント・ケア 2.精神症状マネジメントと看護師の役割	9月7日 (1.5時間)	12
がんゲノム医療と看護	1.がんゲノム医療の動向 2.遺伝性悪性腫瘍と体細胞性腫瘍の特徴 3.がんゲノム医療における看護師の役割	10月5日 (1時間)	9
がん性疼痛とがん以外の疼痛の緩和ケアにおける看護師の役割	1.疼痛のメカニズムと疼痛治療の知識 2.疼痛緩和マネジメントに必要な知識 3.疼痛緩和における看護師の役割	7月6日 (1.5時間)	20

(9) 発表会

研修名	研修内容	研修実施日 (時間)	受講者数(人)
レベルⅢ事例発表会	受け持ち患者の看護をまとめ発表する	11月20日 (1.5時間)	89
院内看護研究発表会 実践報告会(示説)	看護研究発表 部署の実践報告、専門・認定看護師実践報告 委員会活動報告	2月5日 (1時間)	378
院内看護研究発表会 実践報告会(口演)	看護研究発表 部署の実践報告、専門・認定看護師実践報告 委員会活動報告	2月15日 (1時間)	120

(10) 役割別研修

研修名	研修内容	研修実施日 (時間)	受講者数(人)	
新人教育サポーター研修 ①②③	教育手法を学び、新人教育を効果的な企画、運営について 教育概論、リフレクションとは、シミュレーションとは	11月9日 (1.5時間)	35	
		12月11日 (1.5時間)	33	
		1月14日 (1.5時間)	36	
新人教育サポーターフォ ローアップ研修	新人教育サポーターの経験を振り返り、自己の学びや成長の共有、 今後の具体的な支援活動について	10月13日 (2時間)	51	
勤務計画表作成①②	勤務計画表作成の留意点と実際(計画から実績まで)11月分の計 画表を実際に作成する。	10月2日 (1時間)	38	
		12月15日 (1時間)	12	
看護管理①②③④	看護管理とは、マネジメントの基本、PDCAサイクル、管理者に 求められる能力について、問題解決技法の活用方法、自己の取り 組む課題について	6月9日 (1.5時間)	24	
		問題解決技法用い、部署の課題の明確化、 課題解決に向けた具体策の検討、個別フィードバック	8月6日 (1.5時間)	18
		課題解決に向けて、PDCAサイクルを実践した中間報告	10月21日 (1.5時間)	29
		課題解決に向けて取り組んだ看護管理の実践報告	2月12日 (1.5時間)	33
看護師長・副師長合同研 修	組織分析、次年度の目標の決定	3月6日 (8時間)	84	
看護診断事例検討会 (指導者育成)	臨床推論モデルの演習、自部署の看護診断プロセス(診断指標・ 危険因子・関連因子・目標・計画)の連動性について	1月26日 (7時間)	26	

(11) 退院支援スキルアップ研修

研修名	研修内容	研修実施日 (時間)	受講者数(人)
退院支援ステップⅠ	・在宅療養を支える看護職の役割 ・早期退院支援スクリーニングとアセスメント ・退院支援計画書の作成 ・患者・家族と退院支援の必要性を共有	6月3日 (1時間)	72
退院支援ステップⅡ-①	・患者・家族の意思決定のプロセス・患者再評価の視点 ・意思決定支援の実際(事例を通して)	7月1日 (1時間)	66
退院支援ステップⅡ-②	・患者・家族の意思決定支援 ・事例検討(例:難渋した事例)	9月3日 (1.5時間)	41

(12) 看護診断エキスパートナース研修

研修名	研修内容	研修実施日 (時間)	受講者数(人)
エキスパートナース育成 研修	担当する看護診断の講義・プレゼンテーション 相談事例に対する助言内容の検討 看護診断のマスター登録内容の検証	10月9日 (7時間)	6
		11月30日 (7時間)	6

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

令和 3 年 10 月 1 日現在

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名		
管理担当者氏名		

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課	
		各科診療日誌	各診療科	
		処方せん	薬剤部	
		手術記録	診療情報管理センター	
		看護記録	診療情報管理センター	
		検査所見記録	診療情報管理センター	
		エックス線写真	放射線部	
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	診療情報管理センター	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
		高度の医療の提供の実績	医事課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課、管理課 各診療科	
		高度の医療の研修の実績	総務課、各診療科	
		閲覧実績	総務課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	安全管理対策室
			医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	安全管理対策室
			医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	安全管理対策室
			医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	安全管理対策室
		診療録に関するについては、「琉球大学病院診療情報管理センターにおける診療記録管理運用要項」にて定められている。また同要項へ診療記録の『院外への持ち出しは絶対にしなないこと』と明記されている。 処方箋は、外来は1週間単位、入院は病棟単位で綴り、薬剤部で保管。 エックス線写真は、画像サーバーへの電子保存。		
		各課・診療科・関連部署で適切に管理している。		
		各課・診療科・関連部署で適切に管理している。		

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染対策室
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染対策室
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染対策室
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染対策室
		医薬品安全管理責任者の配置状況	琉球大学病院における医薬品安全管理実施要項
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	琉球大学病院における医療機器安全管理実施要項
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME機器センター
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器センター
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME機器センター		

各課・診療科・関連部署で適切に管理している。

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	医療安全管理責任者の配置状況	琉球大学病院における医療に関する安全管理規程	各課・診療科・関連部署で適切に管理している。
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	琉球大学病院における感染対策取扱要項	
	医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部	
	医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	琉球大学病院診療情報管理センターにおける診療記録管理運用要項	
	診療録等の管理に関する責任者の選任状況	琉球大学病院診療情報管理センターにおける診療記録管理運用要項	
	医療安全管理部門の設置状況	琉球大学病院における医療に関する安全管理規程	
	高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	琉球大学病院高難度新規医療技術及び未承認新規医薬品等を用いた医療提供に関する規程	
	未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	琉球大学病院高難度新規医療技術及び未承認新規医薬品等を用いた医療提供に関する規程	
	監査委員会の設置状況	国立大学法人琉球大学医療安全監査規程	
	入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	琉球大学病院における医療事故等並びに死亡事例発生時の報告取扱要項	
	他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	安全管理対策室	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	琉球大学病院医療安全相談窓口運営要項	
	医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	琉球大学病院における医療安全管理の適正な実施の疑義に関する情報提供に関する取扱細則	
	職員研修の実施状況	各診療科、各中央診療施設等	
管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	総務課、安全管理対策室、薬剤部、ME機器センター		
管理者が有する権限に関する	総務課		

	状況	
	管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課
	開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状	
閲覧責任者氏名	病院長 大屋 祐輔		
閲覧担当者氏名	総務課長 金城 不二子		
閲覧の求めに応じる場所	管理棟 2階 小会議室		
閲覧の手続の概要			
閲覧の求めがあった場合、閲覧対応者が個別に対応する			

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0 件
閲覧者別	医 師	延 0 件
	歯 科 医 師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第 1 条の 11 第 1 項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 本院における安全管理に関する基本的な考え方2. 医療に係る安全管理のための組織に関する基本的事項3. 医療に係る安全管理のための研修等に関する基本方針4. 本院における医療に係る安全確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針5. 医療事故等発生時の対応に関する基本方針6. 患者等に対する当該指針の閲覧等に関する基本方針7. 患者等からの相談への対応等に関する基本方針8. その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 ）</p> <p>・ 開催状況：年 13 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 安全管理の対策及び教育に関すること。2. 医療事故及びインシデントの判定に関すること。3. リスクマネジメント・マニュアルに関すること。4. 医療事故等が発生したときにおける事実確認，分析，調査検証等及び対策に関すること。5. 医療事故等の分析等結果を活用した改善のための方策の立案，実施及び実施状況の確認等に関すること。6. 医療事故等が発生したときにおける患者及び家族等への対応に関すること。7. 医事紛争が生じたときの拡大防止策に関すること。8. 訴訟が提起されたときの対策に関すること。9. 関係機関等への報告に関すること。10. その他安全管理，医療事故等，医事紛争及び訴訟の重要事項に関すること。	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 17回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <p>第1回 8部署合同医療安全・医薬品・医療機器研修会 第2回 医療安全実践報告会 第3回 チームステップス研修 第4回 RRS活動の流れ 第5回 医療安全の新しい考え方</p> <p>・ 令和 2 年度新規採用職員オリエンテーション (R2. 4. 1) 【183/183名受講】</p>	

・令和 2 年度中途採用者・復職者対象DVD研修 (R2. 5以降毎月実施)
【58/58名受講】

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有 ・ 無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 - ・ 安全確保状況報告書を毎月部署で作成し提出する
 - ・ 特に 3 b 以上の事例や警鐘事例などは、別途、改善策報告書を提出してもらっている

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 感染対策に関する基本的な考え方2. 琉球大学医学部附属病院感染対策委員会の設置3. 感染対策室及び感染対策実務者会議の設置4. 職員研修5. 感染発生状況及び抗微生物薬使用状況の把握と報告6. 感染発生時の対応7. 感染対策指針の閲覧に関する対応8. 本院における感染対策の推進	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 11 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>感染対策における決議、耐性菌分離・抗菌薬適正使用・手指衛生実施状況 感染症発生時の対応などについての検討・報告を行っている。</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 14 回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <p>①開催期間：2020年12月17日～2021年1月8日 研修会名：第1回感染対策研修会・抗菌薬適正使用研修会 研修内容：・標準予防策について ・新型コロナウイルス当院の対応と感染対策 ・指針のテスト 延べ受講人数：1625名</p> <p>②開催期間：2021年2月10日～2021年2月26日 研修会名：第2回感染対策研修会・抗菌薬適正使用研修会 研修内容：・新型コロナウイルスワクチン接種について 延べ受講人数：1616名</p> <p>※新型コロナウイルス感染防止対策のため、2回ともDVD配布、電子カルテでの受講となります。</p> <p>・令和2年度新規採用職員オリエンテーション（R2.4.1） 【183/183名受講】</p> <p>・令和2年度中途採用者・復職者対象DVD研修（R2.5以降毎月実施） 【58/58名受講】</p>	

④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 1. 院内感染対策委員会の他に、実務者会議や感染対策リンクナース委員会を開催し感染対策に関する情報を共有している。
 2. ICTミーティングを毎週開催し、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師など各職種からの情報を共有し、院内で起きている事項について共有・対策などを講じる場を設けている。
 3. ICTラウンドを毎週実施し、各病棟・部署の感染対策状況の評価・指導を行っている。
 4. 抗菌薬ラウンドを毎日実施し、抗菌薬適正使用につなげている。
 5. 毎日、血液培養陽性患者を確認し、主治医と対応について検討をおこなっている。
 6. 新型コロナウイルス感染症対策で、職員が个人防护具を安全に着脱できるよう指導を行っている。また、各部署と話し合いを持ち、部署に合わせた対策の提案・シミュレーションなどを実施している。
 7. 感染対策コンサルテーションを受けている。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 2 号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る
措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>(1) 令和2年度第1回医療安全職員研修会 日時：令和2年6月26日（金）17：00～18：00 *ビデオによる追加研修あり 講師・テーマ：諸見 牧子（薬剤部）「麻薬の取り扱いについて」 対象：全職員</p> <p>(2) 令和2年度医療安全研修会 日時：令和3年3月18日（木）18：30～20：00 講師：中村 京太（大阪大学医学部附属病院 特任教授） テーマ：医療安全の新しい考え方～レジリエンスとシミュレーション～ 対象：病院職員</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 （ <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 ）</p> <p>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1) 医薬品の採用2) 医薬品の購入3) 薬剤部における医薬品の管理4) 病棟・各部門への医薬品供給5) 外来患者への医薬品使用6) 病棟における医薬品の管理7) 入院患者への医薬品の使用8) 医薬品情報の収集・管理・周知9) 手術・麻酔部門、救急部門・集中治療室、輸血・管理部門、血液浄化部門、臨床検査部門 ・画像診断部門、外来化学療法部門、歯科領域における医薬品の管理と使用10) 他施設との連携11) 在宅患者への医薬品の使用12) 放射線医薬品13) 院内洗剤 <p>実施状況の確認：遵守状況のチェックを各部署で行い、医薬品安全管理責任者が確認。 問題があれば、改善指導を行っている。</p>	

④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有 ・ 無)
- ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例 (あれば) :

眼内染色、硝子体手術での内境界膜剥離時の染色に対し、0.025%プリリアントブルーG染色液

- ・ その他の改善のための方策の主な内容 :

1) 適応外使用・禁忌薬使用の運用について

適応外使用・禁忌薬を使用する場合には、医薬品安全管理専門委員会へ「使用の申請書」を提出し審議、使用する。医薬品の使用による生命への影響の大きさによりリスク分類し、審議方法・使用後報告回数を分ける。

2) 注射用カリウム製剤の単味処方の禁止

注射用カリウム製剤は、単味での処方入力を禁止とし、輸液等と同一処方 (Rp.) で処方・交付することとした。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 3 号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 1 2 2 回
<p>・ 研修の主な内容 :</p> <p>従事者に対する医療機器安全使用のための研修実施。人工呼吸器 血液浄化装置 人工心肺装置 PCPS IABP 除細動器 AED シリンジポンプ 輸液ポンプ及び新規導入機器の取り扱い安全研修を実施している ※講習会補足資料添付 研修会名簿付き 1 2 2 回</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る計画の策定 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)</p> <p>・ 機器ごとの保守点検の主な内容 :</p> <p>医療機器安全管理専門委員会において策定した点検計画に基づいて実施している。 臨床工学技士は、適宜、メンテナンス講習を受講(各機器メンテナンス認定証発行)、保守点検を行っている。ME機器管理システムは、ACEメディアステーションに更新し機器管理、大学病院内にて臨床工学室が中央管理している機器を日常及び定期点検を実施している。臨床工学室で対応できない機器に関しては、メーカー保守点検契約を結び対応(メーカー対応機種は麻酔器、人工心肺装置、放射線関連装置等)としている。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)</p> <p>・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例(あれば) :</p> <p>厚生労働省のHPやPMDA, PMDAナビ及び各種学会からの情報収集やメーカーからの不具合情報をMEセンターで収集し、臨床工学室で共有、情報は該当機種か判断し、各部署に周知徹底している。 重要事項に対しては臨床工学室長及び病院長に報告している。重要事項の必要度に応じてMEニュースを発行し、再研修や院内ラウンドし全職員に周知徹底している。勤務体系に合わせ個別対応も行っている。診療に支障が出ない範囲で、院内機器の統一化を図り取り扱いの煩雑さを軽減、ME機器の安全性を高めるように臨床工学室で取組んでいる。毎月 1 回医療機器安産管理専門委員会にてインシデント及びアクシデント点検修理状況、修理状況を周知し各部門が集まり対策を図っている。更に毎週月曜日に、特定機能カンファレンスにて医療安全管理室を中心として各部門が集まり対策している。</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容 :</p> <p>医療機器の使い方などに関してはIphoneやIPADで閲覧できるようQRコードによる動画配信や説</p>	

(様式第 6-2)

明書の簡素化、少人数研修会にてCOVID-19対策をしている。MEセンターにおいて、研修する際に現状把握、書類記載、体温管理をしていただき安全確認した後、使用のための研修をしている。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 9 条の 2 0 の 2 第 1 項第 1 号から第 1 3 号の 2 に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・責任者の資格 (<input checked="" type="checkbox"/>医師・歯科医師)</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>1. 医療安全管理責任者は、本院の副病院長又は病院長補佐のうちから常勤の医師又は歯科医師をもって充て、病院長が指名する。</p> <p>2. 医療安全管理責任者は、病院長の指揮を受け、医療の質・安全管理部、医療の質向上委員会、医療の質向上対策室、医療安全管理委員会、安全管理対策室、医薬品の安全使用のための責任者（医薬品安全管理責任者）及び医療機器の安全使用のための責任者（医療機器安全管理責任者）並びに診療用放射線の安全利用のための責任者（医療放射線安全管理責任者）を統括する。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有（4名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>医薬品使用の確認の収集は、主に医薬品情報室担当薬剤主任が、PMDA、厚生労働省、製薬会社等の HP や MR からの通知文書、学会等の各種ガイドライン等からまた電子かるて内の医薬品情報検索システム（JUS・DI）からも収集・整理している。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>適応外使用・禁忌使用については、調剤時及び病棟薬剤業務時に主治医に疑義照会し、その内容・結果を診療録に記録し、その情報を収集・分析し、医薬品安全管理責任者へ毎月報告している。これらの情報は、定期的に病棟・診療科へ周知し、さらに周知の確認を実施している。また、適応外使用禁忌使用の申請を医薬品安全管理専門委員会へ提出し使用について審議することとしている。</p> <p>・担当者の指名の有無 (<input checked="" type="checkbox"/>有・無)</p> <p>・担当者の所属・職種： (所属：薬剤部，職種 薬剤師)</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (<input checked="" type="checkbox"/>有・無)</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>(1) 琉球大学病院インフォームドコンセントガイドラインに基づき、診療情報管理センター長(インフ</p>	

フォームドコンセント管理責任者)にて説明同意書の内容監査実施している。評価で要件を満たしていない場合には、評価票を依頼元へ返却し改善を促している。

(2) 質的監査において IC 記事記載における項目を設け内容を確認し、結果を各診療科へ報告し改善を促している。

(3) 当院の臨床指標項目に“全身麻酔手術 IC 時テンプレート記載率”を設定し、毎月集計し医療の質向上対策室分析担当者会議へ報告を行っている。

(4) 医療安全職員研修会及び保険診療講演会にてインフォームドコンセントに関連した内容を全職員対象に周知を行っている。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>■琉球大学病院 診療記録監査要領 に基づき監査を実施</p> <p>量的監査：全退院患者を対象として、記載不備等があれば各診療科へリストを送付し改善を促す。</p> <p>質的監査：(1) 月次監査（診療情報管理センターにて構成）と、(2) 年 2 回程度の相互監査（各診療科医師：19 名、その他看護部・薬剤部・診療情報管理センターにて構成）が、無作為に選んだ退院患者の診療科間相互監査行う。</p> <p>結果は、診療記録分野専門部会、診療情報管理センター運営委員会、病院運営委員会、各診療科、医療安全職員研修会にて報告行し、記載改善を促している。</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無
<p>・所属職員：専従（4）名、専任（ ）名、兼任（12）名 うち医師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（8）名 うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（1）名 うち看護師：専従（2）名、専任（ ）名、兼任（3）名 (注) 報告書を提出する年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 安全管理対策に係る実施状況の調査及び把握に関すること。2. 安全管理対策に係る職員等の教育研修の実施及び意識向上の状況の確認並びに具体的な指導方法に関すること。3. リスクマネジメント・マニュアルの改正に関すること。4. 医療事故等及び死亡事例に係る発生原因の調査、分析並びに関係部署に対する指導、助言に関すること。5. 医療事故等及び死亡事例に係る診療録・看護記録等への記載が正確かつ十分になされているかの確認及び必要な指導に関すること。6. 医療事故等及び死亡事例発生時における患者及び家族に対する説明等の対応状況の確認及び指導に関すること。7. 医事紛争の原因の調査及び分析に関すること。	

8. 琉球大学病院医療安全管理委員会（以下「医療安全管理委員会」という。）の資料及び議事録の作成並びに保管，その他医療安全管理委員会の庶務に関すること。
9. 医療安全相談室に関すること。
10. その他，医療安全対策の推進及び連絡調整に関すること。

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（2件）、及び許可件数（2件）
- ・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・ 活動の主な内容：

高難度新規医療技術を用いた医療提供申請書の提出があった場の内容確認、及び評価委員会に対して高難度医療技術の提供の適否、実施を認める条件等について意見を求めること。
適否結果の通知、定期的な診療録等の記載内容確認、従業者の遵守状況の確認等。

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（ 有 ・ 無 ）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（1件）、及び許可件数（0件）
- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・ 活動の主な内容：

未承認新規医薬品等を用いた医療提供申請書の提出があった場の内容確認、及び評価委員会に対して未承認新規医薬品等の提供の適否、実施を認める条件等について意見を求めること。
適否結果の通知、定期的な診療録等の記載内容確認、従業者の遵守状況の確認等。

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（ 有 ・ 無 ）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 142 件
- ・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 88 件
- ・ 上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

- ・院内死亡事例及び管理者が定める水準以上の事例については、毎月 GRM が内容を把握し管理者に報告している。
- ・個々の事例については、週 1 回のカンファレンス、分析担当者会議、医療安全管理委員会で分析、検討している。
- ・適宜マニュアルの改訂院内巡視、当該部署へのヒアリングと M&M を行っている。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り ((病院名：大阪市立大学病院) ・無)
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ ((病院名：大阪大学医学部附属病院) ・無)
- ・技術的助言の実施状況
医療安全については、病院管理者・それぞれの管理責任者・現場の三者間で、会議や委員会等により情報共有され、医療安全への理解がすすむことで実務担当者が活動しやすくなり、それに伴って安全に配慮した病院になる好循環が生まれている。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況
- 1. 受付業務は患者サポート相談窓口(医療福祉支援センター)が行い、患者等からの医療安全に関する相談等を引き継ぐ。
- 2. 相談等についての実実確認及び報告書の作成に関すること。
- 3. 相談等内容の保護及び管理に関すること。
- 4. その他、相談等に関すること。
- 5. 相談等は、相談室にて対応する。ただし、状況に応じて患者サポート相談窓口を利用する。
- 6. 対応時間は、平日の 8 時 30 分から 17 時 15 分までとし、受付時間は、平日の 8 時 30 分から 16 時 30 分までとする。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

【第 1 回】令和 2 年 6 月 26 日

「医療安全行動の推進に向けて」 8 部署合同研修会

- 講師：西平 淳子先生 (琉球大学病院 安全管理対策室 室長 医師)
平田 哲生先生 (琉球大学病院 診療情報管理センター 医師)
諸見 牧子先生 (琉球大学病院 薬剤部 薬剤部副部長)
西村 公彦先生 (琉球大学病院 臨床工学室 臨床工学技士)
金城 隆展先生 (琉球大学病院 地域医療部・臨床倫理 医師)
宮良 徹先生 (琉球大学病院 施設環境整備課)
大城 光雄先生 (琉球大学病院 総務課 課長)
當銘 秋枝先生 (琉球大学病院 医事課)

【第 2 回】令和 2 年 12 月 10 日

「医療安全実践報告会」

報告部署：検査・輸血部、リハビリテーション部、施設運営部、臨床工学室、手術部

【第 3 回】 令和 2 年 8 月 12 日、令和 3 年 2 月 4 日

「RRS 活動の流れ」

講師：寺田 泰蔵先生（琉球大学病院 救急部部門長 医師）

【第 4 回】 令和 3 年 1 月 21 日、2 月 18 日

「チームステップスの 4 つのコンピテンシー」

講師：奥村 耕一郎先生（琉球大学病院 安全管理対策室 GRM 医師）

【第 5 回】 令和 3 年 3 月 18 日

「医療安全の新しい考え方」

講師：中村 京太先生（大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部特任教授）

・ 令和 2 年度新規採用職員オリエンテーション（R2. 4. 1）

【183/183名受講】

・ 令和 2 年度中途採用者・復職者対象DVD研修（R2. 5以降毎月実施）

【58/58名受講】

(注) 前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・ 研修の実施状況

・ 管理者

2020 年 10 月 特定機能病院管理者研修（継続）

2021 年 2 月 トップマネジメント研修

・ 医薬品安全管理責任者

2020 年 12 月 2020 年度特定機能病院管理研修（継続）

(注) 前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑭ 医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・ 第三者による評価の受審状況

2020 年 5 月に日本医療機能評価機構の「一般病院 3」を受審予定であったが、新型コロナウイルス感染症流行の影響を受け 2020 年 5 月、2020 年 10 月と 2 度の延期となった。その後、2021 年 3 月に訪問審査を受審し、2021 年 8 月に同機構の補充的な審査を受審した。なお、日本医療機能評価機構の認定期間は 2020 年 5 月までとなっているが、現在進行中の審査で認定された場合は、2020 年 5 月から継続更新となる。

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

2021年9月末日現在、日本医療機能評価機構からの最終報告を受けていないことから、講ずべき措置の内容が確定していないため、公表に関しては未定。

・評価を踏まえ講じた措置

2021年9月末日現在、日本医療機能評価機構からの最終報告を受けていないことから、講ずべき措置の内容が確定していないが、2021年3月の訪問審査後の中間的な審査で指摘を受けた事項については、改善等について取り組んでいる。特に、認定条件として指摘を受けた項目については、2021年8月の同機構の補充的な審査時に対応策等を示す等、対応している。

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第 7 条の 2 第 1 項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
<p>・ 基準の主な内容</p> <p>(国立大学法人琉球大学病院長選考等規程)</p> <p>第 4 条 病院長は、次に掲げる要件を満たす者とする。</p> <p>(1) 医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 10 条第 2 項の条件を満たす者</p> <p>(2) 医療安全確保のために必要な資質及び能力を有している者</p> <p>(3) 病院の管理運営に必要な資質及び能力を有している者</p> <p>・ 基準に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 ）</p> <p>・ 公表の方法</p> <p>本学ホームページで公表</p> <p>https://www.u-ryukyu.ac.jp/aboutus/byointyo-r2/</p>

規則第 7 条の 3 第 1 項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
<p>・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 ）</p> <p>・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 ）</p> <p>・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 ）</p> <p>・ 公表の方法</p> <p>本学ホームページで公表</p> <p>https://www.u-ryukyu.ac.jp/aboutus/byointyo-r2/</p>	

管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関 係
木暮 一啓	琉球大学	○	学長が指定する理事	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
大城 功	琉球大学		学長が指定する理事	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
筒井 正人	琉球大学		役職指定	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
高橋 健造	琉球大学		大学院医学研究科から選出され た教員	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
鈴木 幹男	琉球大学		病院から選出された教員	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
青木 陽一	琉球大学		学長が指名する病院副病院長	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
宮里 達也	沖縄県医師会		学長が委嘱する学外有識者 沖縄県医師会の副会長として、医 療、保健について、豊富な知見を	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無

(様式第 6-3)

			有している。	
大城 玲子	沖縄県保健医療部		学長が委嘱する学外有識者 沖縄県の健康福祉に係る担当責 任者として県内の医療事情に精 通し、医療・保健・福祉全般に豊 富な知見を有している。	有・ <input type="checkbox"/> 無
神里 みどり	沖縄県立看護大学		学長が委嘱する学外有識者沖縄 県の医療系大学の学長として、医 療教育に関する豊富な知見を有 している。	有・ <input type="checkbox"/> 無
眞榮城 智子	琉球大学		学長が必要と認める者	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無

規則第 9 条の 2 3 第 1 項及び第 2 項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の
設置及び運営状況

合議体の設置の有無		有・無	
<p>・合議体の主要な審議内容</p> <p>医療法施行規則第9条の23の規定に基づき、次に掲げる事項を審議する。 (1)運営の方針 (2)中期計画 (3)予算及び決算 (4)その他、病院の運営に関する重要な事項</p> <p>・審議の概要の従業者への周知状況</p> <p>各構成員は、病院運営委員会の資料及び議事要旨を学内イントラネットで閲覧することができ、各構成員はその内容を職員へ周知することとしている。 委員会においても、各部署の長たる構成員に対し、重要事項は直接職員へ周知徹底するよう依頼している</p> <p>・合議体に係る内部規程の公表の有無（有・<input checked="" type="checkbox"/>無）</p> <p>・公表の方法</p> <p>・外部有識者からの意見聴取の有無（有・<input checked="" type="checkbox"/>無）</p>			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
大屋 祐輔	○	医師	病院長
藤田 次郎		医師	第一内科長
益崎 裕章		医師	第二内科長
岩淵 成志		医師	第三内科長代行
高槻 光寿		医師	第一外科長
古川 浩二郎		医師	第二外科長
石内 勝吾		医師	脳神経外科長
西田 康太郎		医師	整形外科長
清水 雄介		医師	形成外科長
青木 陽一		医師	産科婦人科長
中西 浩一		医師	小児科長
高橋 健造		医師	皮膚科長
齋藤 誠一		医師	腎泌尿器外科長
鈴木 幹男		医師	耳鼻咽喉科長
古泉 英貴		医師	眼科長
近藤 毅		医師	精神科神経科長
西江 昭弘		医師	放射線科長
垣花 学		医師	麻酔科長
中村 博幸		歯科医師	歯科口腔外科長

(様式第 6-3)

和田 直樹		医師	病理診断科長
梅村 武寛		医師	救急科長
大屋 祐輔		医師	リハビリテーション科長
前田 士郎		医師	検査・輸血部長
鈴木 幹男		医師	手術部長
梅村 武寛		医師	地域・国際医療部長
梅村 武寛		医師	救急部長
堂籠 博		医師	高気圧治療部長
西江 昭弘		医師	放射線部長
齋藤 誠一		医師	材料部長
垣花 学		医師	集中治療部長
古波蔵 健太郎		医師	血液浄化療法部長
平田 哲生		医師	医療情報部長
銘苺 桂子		医師	周産母子センター部長
加留部 謙之輔		医師	病理部長
外間 昭		医師	光学医療診療部長
大屋 祐輔		医師	リハビリテーション部長
植田 真一郎		医師	臨床薬理学講座長
増田 昌人		医師	がんセンター長
平田 哲生		医師	医療情報管理センター長
中村 克徳		薬剤師	薬剤部長
眞柴城 智子		看護師	看護部長
鬼村 博幸		事務職	事務部長

規則第 15 条の 4 第 1 項第 1 号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無 (有 ・ 無 ※一部について)
- ・ 公表の方法

大学のホームページで公表「国立大学法人琉球大学規則集」

- ・ 規程の主な内容

予算執行の権限として、国立大学法人琉球大学会計規則及び予算規程、人事権については、国立大学法人琉球大学組織規則、文書決裁規程、病院規程、病院人事委員会で対応している

- ・ 管理者をサポートする体制 (副院長、院長補佐、企画スタッフ等) 及び当該職員の役割

琉球大学病院副院長及び病院長補佐に関する内規を改正し (平成30年6月)、副院長、病院長補佐の役割を以下の様に明確化した。

○副院長は、次に掲げる病院長業務を分担する。

- (1) 医療安全、(2) 診療、(3) 経営、(4) 教育研修、(5) 臨床研究、(6) 看護及び患者支援

○病院長補佐は、次に掲げる業務を分担する。

- (1) 広報、(2) 研究倫理、(3) 臨床倫理、(4) 医療情報、(5) 遠隔医療、(6) その他病院長が必要と認める事項

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

1. 2021年2月 トップマネジメント研修 (大屋 祐輔)

規則第 15 条の 4 第 1 項第 2 号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無				
<p>・ 監査委員会の開催状況：年 2 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>次に掲げる事項を審議する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の医療安全に係る業務執行の状況に対する監査に関すること。 ・ 安全管理状況及び改善状況に関すること。 ・ 監査の実施に際して、病院の業務状況について病院長に報告を求め、又は必要に応じて自ら確認する。 ・ 委員会は審議の結果に基づき、学長に是正措置を講じるよう意見を提出する。 ・ 審議の結果及び前述の意見を公表する。 <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/>有・無)</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/>有・無)</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/>有・無)</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/>有・無)</p> <p>・ 公表の方法：</p> <p>大学公式ホームページおよび病院公式ホームページでの公開</p>					
監査委員会の委員名簿及び選定理由 (注)					
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
綾部 貴典	宮崎大学医学部 附属病院	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
望月 保博	かりゆし法律 事務所		法律に関する識見を有する者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
照喜名 通	NPO 法人アンビ シャス		医療を受ける立場にある者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1. に掲げる者を除く。)
3. その他

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・ 体制の整備状況及び活動内容

監事による監事監査、監査室による内部監査、総務部総務課の通知により、個人情報保護法の遵守状況確認、法令に基づいた規則の整備状況確認、人事・労務管理システムの確認など多岐にわたって行われている。(従来からの取組み)

・ 専門部署の設置の有無 (有 ・ 無 ※監査室)

・ 内部規程の整備の有無 (有 ・ 無)

国立大学法人琉球大学監事監査規則

国立大学法人琉球大学内部監査規則

・ 内部規程の公表の有無 (有 ・ 無)

・ 公表の方法

大学ホームページで公表

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none">・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 監督は役員会が行う。 高度な医療安全体制を確立するため令和元年 7 月 31 日に「国立大学法人琉球大学における琉球大学医学部附属病院の業務の監督に関する申合せ」を制定した。・ 会議体の実施状況 (年最大48回)・ 会議体への管理者の参画の有無および回数 (<input checked="" type="checkbox"/>有・無) (年最大48回)・ 会議体に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/>有・無)・ 公表の方法 病院ホームページで公開			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称 :			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)・ 通報件数 (年 0 件)・ 窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)・ 周知の方法 <p>ホームページ及び電子カルテポータルシステムでのお知らせ</p>

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>【広報手段】</p> <p>・病院ホームページ, SNS (Twitter, Facebook), 病院情報誌ホットライン, 病院概要などで広報活動を行っている。</p> <p>【広報内容】</p> <p>・病院指標（年齢階級別退院患者数、診断群分類別患者数 等）</p> <p>・診療科部等の取組・診療実績紹介</p> <p>・職員, 専門医, 認定医等の紹介</p> <p>・特集記事（新たに開始する診療や施設等の紹介）</p> <p>・イベント案内 など</p>	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>* 周術期の患者に対し、歯科口腔外科と手術を実施する診療科が連携して外科手術後の合併症予防のための口腔機能管理を行っている。</p> <p>* 複数診療科にまたがる診断・手術を要される患者に対し、実施診療科だけでなく病理医・放射線科医も含め合同でカンファレンスを行うなど、連携して対応にあたっている。</p> <p>* 精神科入院患者で、身体疾患を併せ持つ患者に対して、精神科と精神科以外の診療科が連携し、必要に応じて精神科以外の診療科への入院受け入れが可能な体制となっている。</p> <p>* 術後集中治療を必要とする手術においては、診療科、集中治療部医師・看護師で術前カンファレンスを行い、チーム診療体制で行っている。特に心臓血管外科手術においては、上記に加え麻酔科、手術部看護師も加え周術期管理に対応する体制をとっている。</p> <p>* 重症大動脈弁狭窄症の患者に対して、循環器内科医、心臓血管外科医、麻酔科医、臨床工学技士、看護師、放射線技師など、様々な職種の専門家からなるハートチームを形成し、連携して対応している。</p> <p>* 内科的治療のみでは改善が困難な高度（病的）肥満症の患者に対し、第一外科と肥満に関する診療科等が連携し、減量・代謝改善手術を導入した。術後も継続してフォローできるよう対応に当たっている。</p>	

*生体肝移植手術を導入し、第一外科を中心に、肝臓内科や麻酔科、感染症内科などと連携してかつては県外に依頼していた手術が沖縄で標準的に行われる体制となっている。

*新型コロナ感染妊婦の病床を確保し、救急、感染症内科、NICU、麻酔科と連携し、院内感染対策を行いながら対応している。

*リハビリ対象患者は、各診療科並びに病棟スタッフと合同カンファレンスや改進黨で情報共有を行っている。